



彩の国  
埼玉県



埼玉県のマスコット コバトン

# 事業概要

<平成26年度実績>



埼玉県坂戸保健所

# 目 次

## □ 埼玉県坂戸保健所の概要

1	沿革	1
2	所管区域とその概況	1
3	所管区域図	2
4	組織及び職員	3
5	人口の概況	4

## □ 事業概要

### ◆ 総務・地域保健推進担当 ◆

1	衛生関係免許件数	6
2	地域保健医療計画の推進	7
3	学生実習・研修医の受入れ状況	8
4	健康づくり対策	9
5	地域保健	10
6	医療供給体制	12

### ◆ 保健予防推進担当 ◆

1	栄養・健康づくり・歯科保健	15
2	母子保健	22
3	難病対策	25
4	原子爆弾被爆者対策	27
5	感染症対策	27
6	精神保健福祉	31
7	石綿健康被害の救済	35
8	保健師現任教育	35

### ◆ 生活衛生・薬事担当 ◆

1	医薬品・血液等の安全確保	37
	(1) 薬務関係施設数及び監視状況	37

(2) 麻薬・覚せい剤関係	38
(3) 献血推進事業	38
2 食品の安全性確保	39
(1) 食品衛生関係営業	39
(2) 食中毒発生防止等の対策	40
3 生活環境の確保	41
(1) 衛生的な生活環境の確保	41
(2) 動物の適正な飼育管理	43

【参 考 資 料】

1 各種協議会等委員名簿	44
2 坂戸保健所管内各市町・保健センター一覧	47
3 坂戸保健所管内関係団体一覧	48
4 健康相談・各種検査等定例事業一覧	49

□ 人口動態統計	50
----------	----

## □ 埼玉県坂戸保健所の概要

### 1 沿革

昭和53年9月1日、川越保健所管内北部地域（坂戸市、毛呂山町、越生町、鶴ヶ島町、鳩山町）の保健需要の増加に伴い、県下第3番目の保健所支所として対人保健サービスを充実させるため、川越保健所坂戸支所が開設された（所在地：坂戸市石井2327-1）。

平成3年7月1日、坂戸保健所が発足した。

平成9年4月1日、入間西福祉保健総合センターが、入間西福祉事務所と坂戸保健所相互の連携を強化する組織として設置された。

平成11年4月1日に同センターは、地域における福祉、保健及び医療の一層の連携を推進するために入間西福祉事務所を統合するとともに、保健所を含む福祉保健総合センターとして組織を一本化した。

平成18年4月1日には県内保健所の再編に伴い、新たに飯能市と日高市を坂戸保健所の管轄区域として加え、併せて飯能分室を設置した。

平成22年4月1日には、福祉保健総合センター・保健所の統合再編に伴い、入間西福祉保健総合センター（坂戸保健所併置）は廃止され、併せて坂戸保健所の所管区域から飯能市と日高市が分離された。

### 2 所管区域とその概況

所管区域は、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町及び鳩山町の2市3町からなっている。

人口は233,470人、世帯数は99,586世帯(平成27年1月1日現在)、面積は158.88k㎡である。

管内を高麗川、越辺川が西から東へ流れ、東側は肥沃な荒川低地、西側は外秩父山地の東縁部に当たり、北側は比企丘陵、と変化に富んでいる。

鉄道は、東武東上線が鶴ヶ島市、坂戸市を南北方向に通じ、坂戸市分岐の東武越生線が毛呂山町を通過して越生町へ至っている。また、JR八高線が毛呂山町、越生町を南北方向に通じている。道路は、一般国道407号が管内交通網の基盤を成しており、関越自動車道と首都圏中央連絡自動車道の2本の高速道路が通じている。

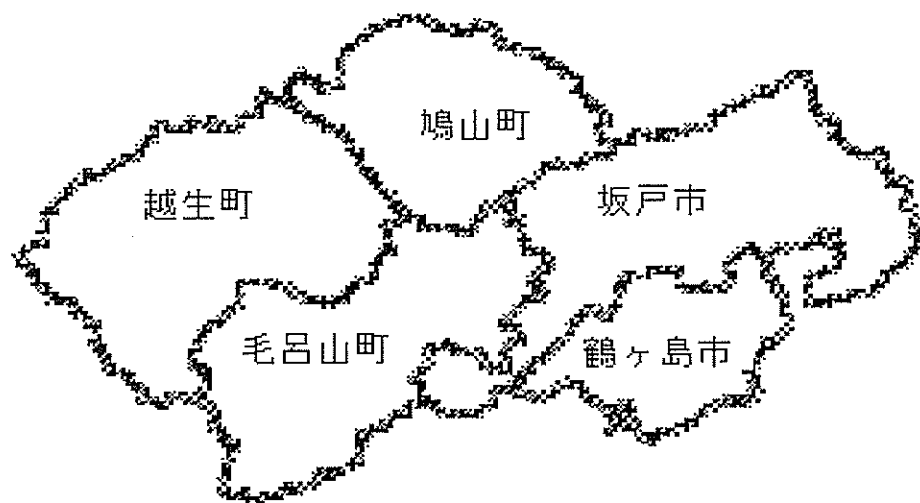
人口構成をみると、0～14歳の年少人口の割合は、県平均12.9%に対して管内は12.4%と0.5ポイント低くなっている。一方、65歳以上の老年人口割合は、県平均23.7%に対して管内は26.3%と2.6ポイント高くなっている。(平成27年1月1日現在)

また、管内には、埼玉医科大学、明海大学、城西大学、日本医療科学大学、女子栄養大学、東京電機大学など多数の大学があり、保健・医療関係等の人材育成や学術研究が進められている。

市 町 名	総人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世 帯 数	面 積 km <sup>2</sup>
管 内	233,470	116,748	116,722	99,586	158.88
坂 戸 市	101,203	50,846	50,357	43,496	40.97
鶴ヶ島市	70,184	35,002	35,182	29,502	17.73
毛呂山町	35,304	17,617	17,687	15,751	34.03
越 生 町	12,309	6,140	6,169	4,961	40.44
鳩 山 町	14,470	7,143	7,327	5,876	25.71

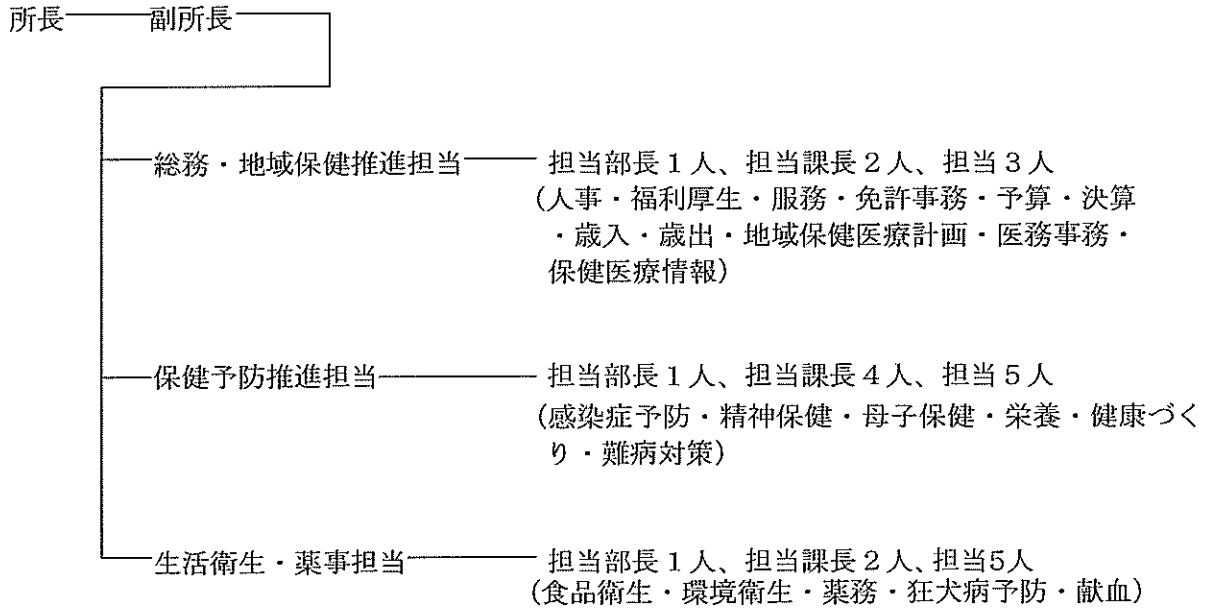
(平成27年1月1日埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告)

### 3 所管区域図



#### 4 組織及び職員（平成27年4月1日現在）

##### 【組織】



##### 【職員数】

(人)

所長	副所長	担当部長	担当課長	主任	主事・技師	計
1	1	3	8	9	4	26

##### 【職種別職員数】

職 種	職員数	職 種	職員数
一般事務職	9	保健師	5
医師	1	栄養士	1
薬剤師	4	精神保健福祉指導職	2
獣医師	3	動物指導職	1
		合計	26

## 5 人口の概況

(1) 管内の人口の推移及び伸び率 (人、%)

	年	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口の推移	埼玉県	5,863,678	6,759,311	6,938,006	7,054,243	7,242,418	7,304,817
	管内	196,987	235,819	235,456	237,210	236,547	233,470
	坂戸市	87,586	98,221	97,381	98,964	101,240	101,203
	鶴ヶ島市	49,381	66,208	67,638	69,783	69,945	70,184
	毛呂山町	34,467	39,808	39,711	39,122	36,783	35,304
	越生町	11,622	13,609	13,718	13,356	13,012	12,309
	鳩山町	13,931	17,973	17,008	15,985	15,567	14,470
伸び率	埼玉県	100.0	115.3	118.3	120.3	123.5	124.6
	管内	100.0	119.7	119.5	119.5	120.1	118.5
	坂戸市	100.0	112.1	111.2	113.0	115.6	115.5
	鶴ヶ島市	100.0	134.1	137.0	141.3	141.6	142.1
	毛呂山町	100.0	115.5	115.2	113.5	106.7	102.4
	越生町	100.0	117.1	118.0	114.9	112.0	105.9
	鳩山町	100.0	129.0	122.1	114.7	111.7	103.9

(注) 1 (a)昭和60年・平成7・12・17・22年は、国勢調査人口  
 (b)平成27年は、「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」(平成27年1月1日現在)

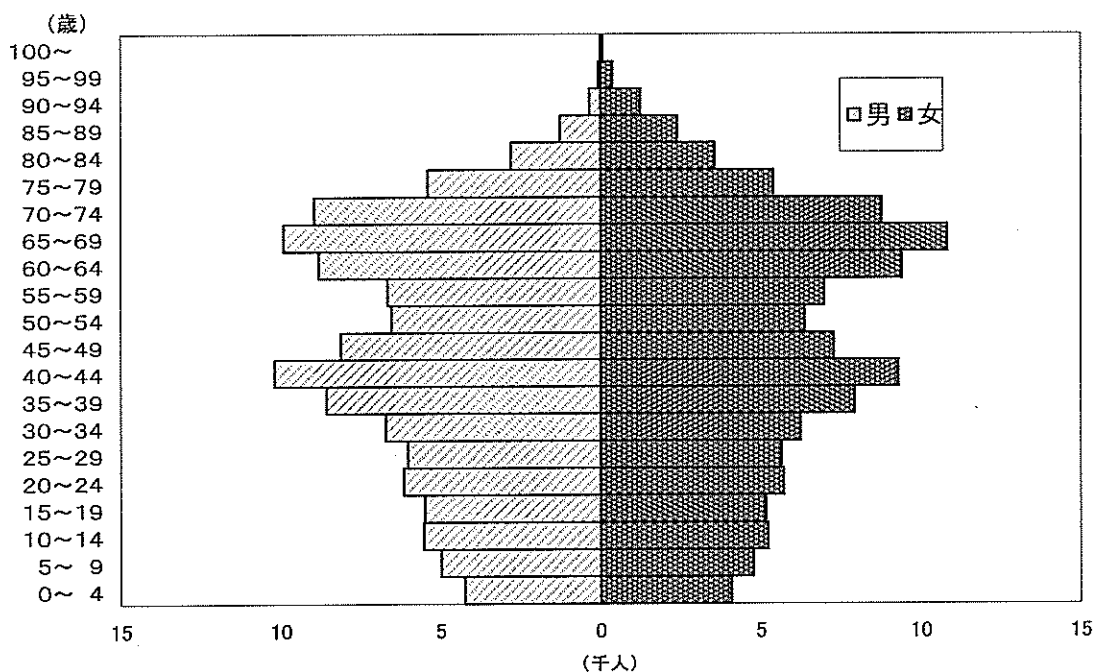
2 伸び率は、昭和60年を100として算出した人口の伸び率である。

## (2) 管内の年齢階級別人口

(人、%)

年齢	総数		男	女			
	構成比	構成比		構成比			
0～4歳	8,337	3.57	4,253	3.64	4,084	3.50	
5～9歳	9,742	4.17	4,976	4.26	4,766	4.08	
10～14歳	10,755	4.61	5,532	4.74	5,223	4.47	
15～19歳	10,647	4.56	5,489	4.70	5,158	4.42	
20～24歳	11,872	5.09	6,154	5.27	5,718	4.90	
25～29歳	11,666	5.00	6,018	5.15	5,648	4.84	
30～34歳	12,946	5.55	6,708	5.75	6,238	5.34	
35～39歳	16,483	7.06	8,556	7.33	7,927	6.79	
40～44歳	19,484	8.35	10,184	8.72	9,300	7.97	
45～49歳	15,395	6.59	8,111	6.95	7,284	6.24	
50～54歳	12,912	5.53	6,541	5.60	6,371	5.46	
55～59歳	13,641	5.84	6,654	5.70	6,987	5.99	
60～64歳	18,227	7.81	8,812	7.55	9,415	8.07	
65～69歳	20,737	8.88	9,906	8.48	10,831	9.28	
70～74歳	17,726	7.59	8,944	7.66	8,782	7.52	
75～79歳	10,785	4.62	5,399	4.62	5,386	4.61	
80～84歳	6,356	2.72	2,802	2.40	3,554	3.04	
85～89歳	3,651	1.56	1,272	1.09	2,379	2.04	
90～94歳	1,596	0.68	356	0.30	1,240	1.06	
95～99歳	439	0.19	69	0.06	370	0.32	
100歳以上	73	0.03	12	0.01	61	0.05	
合計	233,470	100.00	116,748	100.00	116,722	100.00	
再掲	0～14歳	28,834	12.35	14,761	12.64	14,073	12.06
	15～64歳	143,273	61.37	73,227	62.72	70,046	60.01
	65歳以上	61,363	26.28	28,760	24.63	32,603	27.93

資料：埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告（平成27年1月1日現在）





□ 事業概要

◆ 総務・地域保健推進担当 ◆

1 衛生関係免許件数

平成26年度・管内

	免許種別	新規 登録	訂正 書換	再交付	消除 ・ 抹消	計
埼玉 県 知 事 免 許	栄 養 士	216	11	3	0	230
	調 理 師	69	9	9	1	88
	ク リ ー ニ ン グ 師	0	0	0	0	0
	製 菓 衛 生 師	4	0	0	0	4
	准 看 護 師	1	15	7	0	23
	旧 保 健 婦	0	0	0	0	0
	旧 助 産 婦	0	0	0	0	0
	旧 看 護 婦	0	0	0	0	0
	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	—	0	0	0	0
	登 録 販 売 者	30	1	2	0	33
	小 計	320	36	21	1	378
他 都 道 府 県 知 事 免 許	准 看 護 師	—	2	—	—	2
	旧 保 健 婦	—	—	—	—	—
	旧 助 産 婦	—	—	—	—	—
	旧 看 護 婦	—	—	—	—	—
	小 計	—	2	—	—	2
厚 生 労 働 大 臣 免 許	医 師	14	11	3	0	28
	歯 科 医 師	17	6	1	0	24
	歯 科 技 工 士	1	1	0	0	2
	診 療 放 射 線 技 師	15	1	0	0	16
	臨 床 検 査 技 師	15	5	0	0	20
	衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0
	視 能 訓 練 士	2	0	0	0	2
	理 学 療 法 士	18	4	1	0	23
	作 業 療 法 士	7	0	0	0	7
	保 健 師	9	15	1	0	25
	助 産 師	6	8	0	0	14
	看 護 師	205	90	6	0	301
	薬 剤 師	17	19	1	0	37
	管 理 栄 養 士	32	10	1	0	43
小 計	358	170	14	0	542	
合 計	678	208	35	1	922	

## 2 地域保健医療計画の推進

「県民の医療に対する安心、信頼の確保」、「良質な医療を効率的に提供する体制の確保」、「生涯を通じた健康の確保」を基本理念とした本県の保健医療に関する総合的な計画として、第5次計画に続き、平成25年3月、新たに第6次埼玉県地域保健医療計画が策定された。この計画期間は、平成25年度から29年度までの5年間である。

併せて、当川越比企保健医療圏においても、5本の「圏域別取組」（健康危機管理体制の強化、生活習慣の改善を含む健康増進対策の推進、精神保健福祉医療対策、親と子の保健対策、歯科口腔保健対策）が策定され、関係機関において対策を推進することとしている。

なお、県の総合計画である「ゆとりとチャンスのさいたまプラン」の地域区分との整合性を確保するため、平成22年4月に県内二次保健医療圏の圏域が見直され、川越市保健所、埼玉県坂戸保健所及び埼玉県東松山保健所の管轄区域（計14市町村）を圏域とする「川越比企保健医療圏」が新たに設定されている。

### (1) 埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療協議会

この協議会は、埼玉県地域保健医療協議会要綱に基づき、当坂戸保健所が事務局を務めており、平成26年度は1回開催した。平成26年度の開催状況は、次のとおりである。

なお、協議会は、保健医療や行政の関係者24人で構成されている。

開催日	議題
平成27年 3月23日(月)	1 川越比企保健医療圏における「圏域別取組」の推進状況について 2 新型インフルエンザ対策について 3 その他 ・埼玉県地域保健医療計画（第6次）の変更について (出席委員数：23人 欠席：1人)

### (2) 保健・医療・福祉の情報収集、分析

住民の健康の保持、増進を図るため、所管区域の保健、医療、福祉に関する情報について、幅広く収集、管理、分析を行った。

### 3 学生実習、研修医の受入れ状況

学生、研修医を次のとおり受け入れ、保健所の機能、役割を理解するための講義、見学、実習等を行った。

平成26年度

学 校 名	実 習 期 間	一人当たり の実習日数	人 数
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科	5/19、5/20	2日	11人
人間総合科学大学保健医療学部看護学科	5/19、5/22	2日	8人
日本保健医療大学保健医療学部看護学科	5/19、5/23	2日	12人
埼玉医科大学保健医療学部看護学科	10/16、10/17	2日	12人
埼玉医科大学短期大学看護学科	9/17、11/18	1日	96人
女子栄養大学栄養学部実践栄養学科	10/14～10/27	10日	3人
城西大学薬学部医療栄養学科	5/19、7/22～7/25	5日	2人
医療法人関越病院 医師臨床研修	9/24～9/26	3日	2人
明海大学歯学部附属明海大学病院 歯科医師臨床研修	10/16	1日	4人
埼玉医科大学病院 医師実地修練	9/16～9/26	8日	1人

## 4 健康づくり対策

### 衛生教育事業

衛生教育事業は、保健所活動のうちでも、地域住民が自らの健康問題を発見、解決し、健康な生活を送れるように支援していく上で、非常に重要かつ基本的な活動である。

衛生教育の実施形態としては、保健所自らが企画、実施するもののほか、市町や組織、団体からの依頼により実施するものなどがある。

平成26年度の実施回数は、総数35回、参加人数1,849人、1回当たりの参加人数は約53人となっている。

平成26年度

項 目	総 数	教 育 内 容 別												
		感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神	難 病	母 子	成 人 ・ 老 人	栄 養 ・ 健 康 増 進	歯 科	医 事 ・ 薬 務	食 品	環 境	そ の 他
回 数	35	3	0	1	0	1	1	-	6	-	1	20	2	-
参加人数	1,849	359	0	120	0	20	26	-	116	-	79	995	134	-

## 5 地域保健

### (1) 健康増進

管内各市町が平成26年度に実施した。医療以外の保健事業の実施状況は次のとおりである。

平成26年度地域保健・健康増進事業実施結果

項目		市町名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	
人口	総数		233,470	101,203	70,184	35,304	12,309	14,470	
	40歳以上		141,022	59,757	40,894	22,151	8,048	10,172	
	30歳以上(女)		86,125	36,858	25,466	13,158	4,753	5,890	
健康手帳	40～74歳		1,824	1,281	349	2	24	168	
	75歳以上		324	52	87	1	149	35	
健康教育	集団健康教育	開催回数	292	138	4	25	29	96	
		参加延人員	4,398	2,411	99	78	632	1,178	
健康相談	重点健康相談	開催回数	124	101	12	3	6	2	
		被指導延人員	239	115	12	5	104	3	
	総合健康相談	開催回数	227	102	18	51	39	17	
		被指導延人員	1,193	603	66	127	161	236	
機能訓練	指導実施回数		16	16	0	0	0	0	
	被指導実人員		2	2	0	0	0	0	
	被指導参加延人員		16	16	0	0	0	0	
訪問指導	被訪問指導実人員		19	3	0	8	6	2	
	被訪問指導延人員		56	3	0	8	43	2	
健 康 診 査	胃がん 検診	男性	対象者数	25,062	10,276	6,238	4,916	1,419	2,213
			受診者数	2,959	717	787	703	215	537
			受診率	11.8	7.0	12.6	14.3	15.2	24.3
		女性	対象者数	40,786	17,053	10,928	6,968	2,359	3,478
			受診者数	3,227	798	1,050	629	245	505
			受診率	7.9	4.7	9.6	9.0	10.4	14.5
	大腸がん 検診	男性	対象者数	25,390	10,276	6,238	4,916	1,419	2,541
			受診者数	7,717	3,092	2,427	1,064	510	624
			受診率	30.4	30.1	38.9	21.6	35.9	27.0
		女性	対象者数	41,198	17,053	10,928	6,968	2,359	3,890
			受診者数	10,720	4,839	3,492	1,097	666	626
			受診率	26.0	28.4	32.0	15.7	28.2	19.0
肺がん 検診	男性	対象者数	25,279	10,276	6,238	4,916	1,419	2,430	
		受診者数	3,692	847	896	759	523	667	
		受診率	14.6	8.2	14.4	15.4	36.9	27.4	
	女性	対象者数	41,165	17,053	10,928	6,968	2,359	3,857	
		受診者数	4,256	1,012	1,264	716	642	622	
		受診率	10.3	5.9	11.6	10.3	27.2	16.1	
子宮がん 検診	対象者数		53,920	22,505	14,669	8,939	2,756	5,051	
	頸部	受診者数	6,271	3,193	1,630	787	352	309	
		2年連続受診者数	206	190	1	4	6	5	
	体部	受診者数	0	0	0	0	0	0	
受診率			25.4	18.8	16.4	23.8	12.0		
乳がん 検診	視触診 及び マンモ グラフィ	対象者数	41,331	17,053	10,928	6,968	2,359	4,023	
		受診者数	4,830	1,781	1,631	717	308	393	
		2年連続受診者数	105	71	9	12	6	7	
		受診率		19.0	26.6	19.7	26.0	19.0	

(注) 1 人口の総数は、平成27年1月1日現在の数値。

2 40歳以上、30歳以上(女)の人口は、平成27年1月1日現在の数値。

3 平成26年度地域保健・健康増進事業報告からの数値。ただし、概数である。

(2) 保健所別研修

市町村職員、保健所職員、その他地域の関係職員を対象に、職員の資質の向上を目的として研修を実施した。

開催日	内 容	参加者
平成26年 6月30日(月)  平成27年 2月12日(木)	<p>新規採用職員研修会（2回実施） 保健所及び管内市町の新規採用保健福祉職員を対象に、相互交流及び基本的技術の習得を目的に研修会を実施した。</p> <p>第1回研修会 テーマ：自分が勤務する市町について 対象者：平成26年度新規採用保健福祉職員 場 所：坂戸保健所（多目的ホール）</p> <p>第2回研修会 テーマ：相談の受け方 講 師：臨床心理士 小笠原美江氏 対象者：採用三年以内の保健福祉職員 場 所：坂戸保健所（多目的ホール）</p>	市町村職員 保健所職員 計19人
平成26年 7月10日(木)  平成26年 8月21日(木)	<p>ケースマネジメント研修 事例対応時必要なケースマネジメント能力の向上を目的に研修会を実施した。</p> <p>テーマ：事例検討をケースマネジメントに生かそう 講 師：臨床心理士 菊池礼子 氏 対象者：保健福祉関係職員</p> <p>第1回研修会 ～講義編～ 場 所：坂戸保健所（中会議室）</p> <p>第2回研修会 ～実践編～ 場 所：坂戸市立市民健康センター</p>	市町村職員 保健所職員 計29人
平成27年 1月9日(金)	<p>小児救急研修会 管内幼稚園、保育園職員を対象に小児救急に関する問題点を共有し連携を図るため、実技体験を含む研修会を実施した。</p> <p>テーマ：子供の医療、小児救急、事故防止のための講習会 講 師：埼玉医科大学国際医療センター 小児救急看護認定看護師 鈴木雅子 氏 対象者：幼稚園、保育園、市町村職員 場 所：坂戸保健所（多目的ホール）</p>	幼稚園・保育園・市町村職員 計39人

## 6 医療供給体制

### (1) 医療施設の状況

病院は11施設、3,012床となっている。また、診療所は一般診療所が129施設86床、歯科診療所が107施設となっている。

#### 施設数

種別 市町名	院						一般 診療所	歯科 診療所
	総数	一般	療養	精神	結核	感染性		
坂戸市	5	3	3	0	0	0	67	49
鶴ヶ島市	2	2	1	0	0	0	36	32
毛呂山町	3	3	0	3	0	1	13	16
越生町	0	0	0	0	0	0	8	4
鳩山町	1	0	1	0	0	0	5	6
管内計	11	8	5	3	0	1	129	107
県計	343	255	124	65	4	7	4,239	3,550
管内計/県計	3.2%	3.1%	4.0%	4.6%	0.0%	14.3%	3.0%	3.0%

(注)複数の病床種別を有する病院があるため、病院総数と種別病院数の合計が一致しない。

#### 病床数(単位:床)

市町名	病 院						一般 診療所	歯科 診療所
	総数	一般	療養	精神	結核	感染性		
坂戸市	442	238	204	0	0	0	48	0
鶴ヶ島市	319	243	76	0	0	0	38	0
毛呂山町	1,941	1,186	0	749	0	6	0	0
越生町	0	0	0	0	0	0	0	0
鳩山町	310	0	310	0	0	0	0	0
管内計	3,012	1,667	590	749	0	6	86	0
病院種別割合	100%	55.3%	19.6%	24.9%	0.0%	0.2%		
県計	62,027	35,541	11,925	14,348	171	42	2,979	7
病院種別割合	100%	57.3%	19.2%	23.1%	0.3%	0.1%		
管内計/県計	4.9%	4.7%	4.9%	5.2%	0.0%	14.3%	2.9%	0.0%

(注)病院種別割合は、総数を100%とするため、種別の数値を調整してある。

(2) 救急医療体制

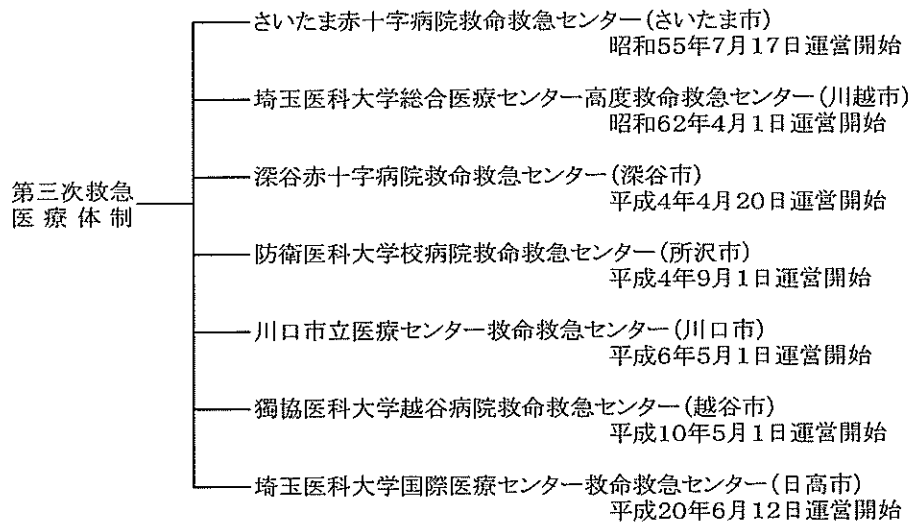
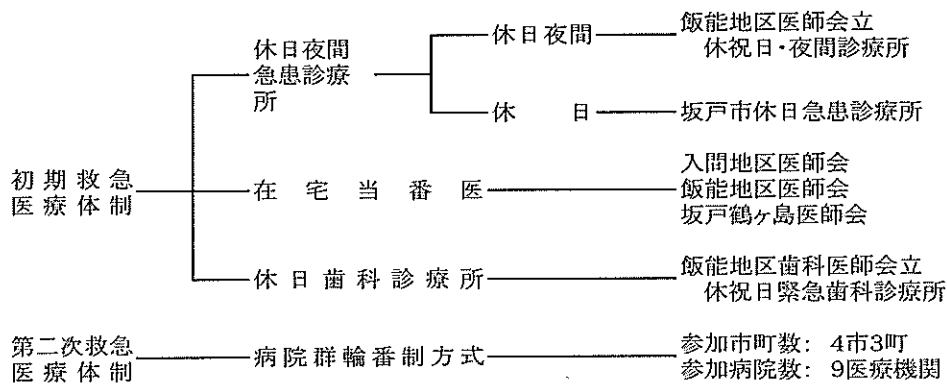
ア 坂戸・飯能地区救急医療対策協議会

飯能市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町及び鳩山町における救急医療体制の整備促進及び関係者との連絡調整等救急医療に関する諸問題を協議するために設置している。

協議会の委員は、市町の保健衛生部課所長、地区医師会代表者、地区歯科医師代表者、第二次救急医療参加医療機関管理者、消防長及び保健所長等から構成されている。

平成26年度は平成27年2月9日に開催され、病院群輪番制等について協議した。

イ 坂戸・飯能地区救急医療体制（平成27年4月1日現在）



救急病院・診療所  
坂戸地区:3病院  
飯能地区:6病院・1診療所

(3) 立入検査の状況

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保するため、医療施設（病院・有床診療所）が医療法その他の法令によって規定された人員及び構造設備を有し、適正な管理を行っているか等について立入検査を行っている。

平成26年度は、病院11施設及び有床診療所1施設を対象に実施した。



#### (4) 施術所

施術所数は、平成27年3月31日現在236施設となっている。

市町村別、業務内容別、施術所数

項 目	施術所総数	業 務 内 容 別 内 訳		出張専業総数
		あん摩・マッサージ・ 指圧・はり・きゅう	柔道整復	
		施術所	施術所	
管 内	236	121	115	84
坂 戸 市	116	60	56	34
鶴ヶ島市	70	35	35	23
毛呂山町	32	19	13	16
越 生 町	10	4	6	5
鳩 山 町	8	3	5	6

◆ 保健予防推進担当 ◆

1 栄養・健康づくり・歯科保健

(1) 栄養・健康づくり

ア 健康増進（栄養・運動等指導）

健康増進法第18条及び「行政栄養士業務の基本指針」に基づき、地域住民の健康の増進を図るため、専門的栄養指導及び食生活支援を実施した。

平成26年度（人）

指導対象	個別指導延べ人数				集団指導延べ人数			
	栄養 (病態別)	運動	禁煙	その他	栄養	運動	禁煙	その他
乳幼児	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上	17(2)	—	38	8	1,029	—	227	—
合計	17(2)	—	38	8	1,029	—	227	—

イ 健康増進（給食施設等指導）

健康増進法20条及び埼玉県健康増進法施行細則に基づく特定給食施設等の届出受理や健康増進法第22条に基づく栄養管理指導等を実施した。

平成26年度（施設）

	特定給食施設		その他の給食施設	計
	1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回50食以上又は1日100食以上	
給食施設指導延べ施設数	153	88	90	331

ウ 栄養関係団体育成事業

保健所管内の栄養関係団体に対し健康づくり活動に関する研修会を開催するとともに、健康づくりに関する普及啓発を目的とした活動を支援した。

平成26年度

実施内容	回数	延人数	会員の概要
坂戸保健所管内地域活動栄養士会「れもんの会」研修会	5	41	保健所管内地域活動栄養士 17人
坂戸保健所管内市町食生活改善推進員養成講座	2	50	各市町食生活改善推進員協議会会員 (坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・鳩山町)
坂戸保健所管内給食管理者研究会（研修会・役員会）	7	146	事業所・病院・福祉施設等の給食施設 48施設

エ 食育推進事業

(7) 食育推進のための事業

「食育推進計画（平成25～27年度）」の9指標の目標値を達成するために実施した。

(1) 事業名【西部地域保健所合同研修会】	
実施時期	平成27年2月10日(水) 14時～16時30分
対象者	事業所等の総務・福利厚生担当及び健康管理担当、給食業務従事者及び市町村国保等の特定健診・特定保健指導担当者、管内市町健康づくり担当者等 59人
内容	<p>事例報告</p> <p>報告Ⅰ「より効果的な特定保健指導を目指して～保険者と委託会社との協働～」  株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア 今埜 紗代 氏  蓮田市健康増進課 小林 洋子 氏</p> <p>報告Ⅱ「社員の健康増進を目指した健康管理部門と給食部門との連携について」  トッパングループ健康保険組合 南 純子 氏  エームサービス株式会社 BDS 事業本部北関東事業部  カルソニックカンセイ本社事業部 指田 佳美 氏  凸版印刷朝霞工場事業所 石川 柚紀子 氏</p> <p>質疑応答及び意見交換</p>

(2) 事業名（講演会等名称）【ヘルシーメニュー相談会】	
実施時期	平成27年2月23日(月) 14時～16時
対象者	栄養成分表示やヘルシーメニュー提供に興味のある飲食店等
内容	<p>参加店舗 4店舗</p> <p>講話「埼玉県・健康づくり協力店制度について」 坂戸保健所 原田由美子</p> <p>個別相談「栄養成分表示やヘルシーメニュー提供について」</p> <p>講師 坂戸保健所管内地域活動栄養士  高見みな子氏、角田津英子氏、小田島京子氏、石田英子氏</p>

(3) 事業名（講演会等名称）【管内食生活改善推進員研修会】	
実施時期	第1回 平成26年7月24日(木) 10時～13時30分 第2回 平成26年9月4日(木) 10時～12時30分
対象者	管内市町栄養業務担当者、管内市町食生活改善推進員等

内 容	第1回 参加者 27人 (1) 講話とグループワーク 10:00~10:45 「自分にとって適正な食事量とは」 管理栄養士 小田島京子氏 「調理法によるエネルギー等の違いについて」 (各班で発表) 保健所・市町 管理栄養士 (2) 調理実習 「調理法によるエネルギー等の違いについて」 管理栄養士 小田島京子氏 10:50~13:30
	第2回 参加者 23人 (1) 講話「健康日本21(第2次)について」 10:00~11:00 ~食生活改善推進員の役割~ 講師 坂戸保健所 所長 藤本 真一 (2) 講話「食中毒予防について」 11:00~11:45 講師 坂戸保健所 生活衛生・薬事担当 担当課長 門脇 徹 グループワーク「食生活改善推進員の役割について」 11:45~12:15 保健所・市町 管理栄養士 各グループ別発表 12:15~12:30

(4) 事業名 (講演会等名称) 【食育普及講習会】	
実施時期	平成26年10月23日(木) 10時~11時
対象者	坂戸市立溝端保育園 園児・職員 148人
内容	エプロンシアターによる食育

(5) 事業名 (講演会等名称) 【給食施設研修会】	
実施時期	平成26年7月23日(水) 9:45~11:45
	平成26年8月6日(水) 14:00~16:00
対象者	管内給食施設(管内の学校、病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設、寄宿舍、事業所、給食センターの給食管理者、栄養士、調理師等)
	7月23日 185人
	8月6日 54人 合計 239人

内 容	①講義「給食施設における衛生管理」 講師 狭山保健所 食品監視担当 主任 皆川みどり（7月23日） 狭山保健所 食品監視担当 担当部長 五十嶋一恵（8月6日）
	②講話「給食施設の栄養管理について」 講師 坂戸保健所 保健予防推進担当 担当部長 原田由美子
	③講話「施設における感染症対策について」 講師 坂戸保健所 保健予防推進担当 技師 秋山祐衣

(6) 事業名 (講演会等名称) 【給食施設研修会】	
実施時期	平成27年2月17日(火) 14時～16時
対象者	管内給食施設(管内の学校、病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設、寄宿舎、事業所、給食センターの給食管理者、栄養士、調理師等) 55人
内 容	講演「高齢者の栄養ケアプラン・栄養管理 事例・症例」 ～高齢者栄養状態を常に安定させるためには～ 講師 駒沢女子大学人間健康学部 健康栄養学科 教授 田中弥生 先生

オ 栄養成分表示普及促進事業

健康増進法、栄養表示基準に基づく食品製造業者への表示指導を実施した。  
「飲食店等における栄養成分表示普及促進事業実施要綱」に基づき、調理師会、地域活動栄養士会の協力により「埼玉県・健康づくり協力店」に興味のある店舗を対象とした説明会&ヘルシーメニュー相談会を開催し、指定を行った。

平成26年度

対 象	内 容	実 績
食品製造業者指導(個別)	栄養成分表示、栄養機能食品に関する指導	15件
埼玉県・健康づくり協力店	H26年度指定施設	4店舗
	H26年度末総指定施設	63店舗

(2) 国民健康・栄養調査

平成26年度は該当なし

### (3) 健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業

健康長寿埼玉を実現するためには、個々人の主体的な健康づくりの取組に加え、保健事業等により生涯を通じた健康管理を支援していくことが必要である。

そこで、生活習慣病予防対策を推進するために、地域保健と職域保健の連携をより一層強化して、効果的な健康長寿推進体制を構築した。

(1) 健康課題対策支援事業	
・地域の健康課題の把握を行うため、各市町にヒアリングを実施 5月～6月(5市町)	
・坂戸保健所管内健康づくり対策推進会議の開催	
日時	平成26年7月29日(木) 13:30～16:30 18名参加
会場	坂戸保健所
内容	<p>①講義「国民健康保険及び特定健診の状況からみえる地域の姿」 ～KDBシステムを活用した受診率向上及び重症化予防～ 講師 埼玉県国民健康保険団体連合会 保健課 保健事業係 主事 原田 直樹 氏</p> <p>②各市町から発表 テーマ：住民の健康づくりへの意識をたかめ重症化を予防するために 「慢性腎臓病予防の取組」 坂戸市 「受診率向上の取組」 鶴ヶ島市 「特定健診・特定保健指導の5年間の取組成果」 毛呂山町 「住民の健康づくりへの意識向上を目指したマイレージ事業の取組」 越生町 「住民組織と連携した受診率向上の取組」 鳩山町</p> <p>③意見交換</p>
・慢性腎臓病(CKD)予防対策意見交換会の開催	
日時	平成27年3月5日(木) 13:30～16:00 15名参加
会場	坂戸市立市民健康センター
内容	<p>①講義「レセプトデータ等を活用した糖尿病性腎症重症化予防事業について」 講師 埼玉県保健医療部保健医療政策課 新都心医療拠点・医療プロジェクト推進担当 副課長 武田一彦氏</p> <p>②各市町の取組状況及び意見交換 テーマ：慢性腎臓病(CKD)から人工透析へ移行しないために話題提供 「糖尿病性腎症重症化予防事業について」 鳩山町 「人工透析予防対策事業について」 坂戸市・鶴ヶ島市</p>
対象	市町(保健センター、国保)、保健所等

(2) 特定健診受診率向上事業	
・慢性腎臓病予防講演会、受診率向上キャンペーン（講演会は坂戸市主催）	
日時	平成26年9月20日（土）14:00～16:00 193名参加
会場	坂戸市立勝呂公民館
内容	慢性腎臓病予防講演会、受診率向上キャンペーン ①講話「慢性腎臓病の予防～人工透析に移行しないために～」 講師 埼玉医科大学病院 内分泌内科・糖尿病内科 准教授 稲葉宗道 医師 ②シンポジウム「腎臓に関するQ&A」 発表者 埼玉医科大学病院 内分泌内科・糖尿病内科 准教授 稲葉宗道 氏（医師） 女子栄養大学 助教 坂本香織 氏（管理栄養士） 人工透析当事者 白石俊夫 氏 ③受診率向上チラシの配布
対象	住民

(3) 効果的な保健指導実施支援事業	
・健康指標に関する研修会の開催	
日時	平成26年6月19日（木）13:30～15:00 16名参加
会場	坂戸保健所
内容	①講義「保健統計資料の活用」～【健康指標総合ソフト】を使って～ 講師 衛生研究所 地域保健・支援担当 専門研究員 小濱美代子氏 ②講義「健診データをみる」 講師 衛生研究所 地域保健・支援担当 技師 海老原千尋氏 ③講義「既存データから現状をみる」 講師 衛生研究所 地域保健・支援担当 担当部長 徳留明美氏
・保健指導を効果的に行うためのスキルアップ研修会の開催 テーマ：「糖尿病性腎症の重症化を予防するための保健指導」 ～透析に移行しないために～	
日時	①平成27年1月23日（金）14:00～16:00 37名参加 ②平成27年2月 5日（木）14:00～16:00 31名参加
会場	坂戸保健所
内容	①講義「糖尿病の合併症について」 講師 女子栄養大学栄養クリニック 教授 蒲池 桂子 氏 ②講義・事例検討「糖尿病性腎症から透析へ移行しないために」 ～事例をまじえて～ 講師 女子栄養大学栄養クリニック 教授 蒲池 桂子 氏
対象	市町村において保健指導に関係している保健師、管理栄養士 等 （地域活動保健師及び栄養士を含む） 特定保健指導実施医療機関に関係している保健師、管理栄養士 等 管内企業の健康管理担当者 等

・働く世代の健康づくり支援（地域と職域との連携） 西部地域保健所合同研修会の開催	
日時	平成27年2月10日（火） 14:00～16:30 59名参加
会場	川越市南公民館
内容	<p>事例報告</p> <p>①報告Ⅰ「より効果的な特定保健指導を目指して ～保険者と委託会社との協働～」</p> <p>株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア 今埜 紗代 氏 蓮田市健康増進課 小林 洋子 氏</p> <p>②報告Ⅱ「社員の健康増進を目指した健康管理部門と給食部門との 連携について」</p> <p>トッパングループ健康保険組合 南 純子 氏 エームサービス株式会社 BDS 事業本部北関東事業部 カルソニックカンセイ本社事業部 指田 佳美 氏 凸版印刷朝霞工場事業所 石川 柚紀子 氏</p> <p>③質疑応答及び意見交換</p>
対象	事業所等の総務・福利厚生担当及び健康管理担当、給食業務従事者、市町村国保等の特定健診・特定保健指導担当者、管内市町健康づくり担当者等

#### （4）受動喫煙防止対策

健康増進法第25条により「多数の者が利用する施設を管理する者は、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない」と規定されている。

埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度実施要領に基づき、全面禁煙・空間分煙実施施設の認証を実施するため、制度の普及啓発、関係機関への説明等を実施した。

平成26年度全面禁煙・空間分煙認証施設	37施設
平成26年度末全面禁煙・空間分煙認証施設	総施設数 255施設

#### （5）歯科保健

##### ア 保健所歯科口腔保健連携会議

埼玉県歯科口腔保健推進計画を推進するため、管内市町村と地域の歯科医師会、歯科衛生士会等関係団体との連携会議を開催した。

保健所管内の歯科保健状況の評価（地域診断）と効果的な歯科保健事業展開のあり方を検討するとともに、小児う触予防対策事業の推進を検討した。



実施日時	平成 26 年 12 月 18 日(木) 13:30～16:30
実施場所	坂戸保健所 多目的ホール
出席者	33人
内容	<p>(1) 講話</p> <p>①「埼玉県・埼玉県歯科医師会事業紹介」 講師 埼玉県歯科医師会 大野康 氏</p> <p>②「小児う蝕予防対策事業の推進について その後」 ～保育園・学校におけるフッ化物洗口の取組～ 講師 埼玉県歯科医師会・地域保健部 副部長 菅沼慎一郎 氏</p> <p>(2) 実践報告 「鶴ヶ島市小児保健における取組について 学校との連携等」 ～ワースト1からの脱却を目指して～ 鶴ヶ島市保健センター 主任保健師 関口恵子氏 歯科衛生士 澤香代子氏、岸田和美氏</p> <p>(3) フッ化物洗口の体験 入間郡市歯科医師会 第4支部長 鷺谷 剛 氏</p> <p>(4) グループディスカッション テーマ：「子どもの歯科口腔保健の推進に向けて」</p> <p>(5) 各グループ発表</p> <p>(6) 講評・まとめ</p>

## 2 母子保健

### (1) 子どもの心の健康相談

何らかの精神的な問題があると思われる児童、家族またはその児童に関わる関係者を対象として、小児精神保健医療に関する専門相談を実施している。

平成26年度

実施回数	来所実件数	来所延べ件数	来所延べ人員
23	21	67	93

\*来所延べ人員に関係者を含む。

来所者状況（延べ数）

来所時年齢	0～6歳	3	相談内容	行動の問題	36
	7～12歳	52		心理的問題	6
	13～15歳	12		社会化の問題	28
	16歳～	—		身体化症状	9
	計	67		食行動の問題	2
相談結果	経過観察	31		排泄の問題	4
	他機関紹介	14		睡眠の問題	—
	対応方法の助言	42		習癖の問題	6
	その他	33		発達の問題	39
※ 相談内容及び相談結果は複数該当のため合計数はカウントしていない。				小児期のうつ	—
				小児期の精神病	—
				その他の精神病	—
				家族機能の問題	26
				関係者の対応	39
				その他	23

(2) 子どもの心のネットワーク事業

関係機関の連携の強化、小児精神保健医療に関する情報の収集と共有等を目的に、会議および研修会を実施している。

ア 小児精神保健医療推進連絡会議

平成26年度

開催月日	内 容	参加人数
平成26年 6月23日	意見交換・情報交換 テーマ「子どもの発育・発達相談の現状と課題について」	18

イ 子どもの心の問題に関する研修会

平成26年度

開催月日	内 容	参加人数
平成26年 6月23日	講演 「子どもの心の相談と地域生活への支援」 講師 東京国際大学 人間社会学部教授 小田切 紀子 氏	19

(3) ふれあい親子支援事業

育児への不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して臨床心理士、保健師等がチームでグループミーティングを行い、良好な親子の関係づくりを目的としている。

平成26年度

実施回数	来所実人員	来所延べ人数	カンファレンス延べ件数
11	親4 子6	親30 子26	74

関係者向け研修会

平成26年度

開催月日	内 容	参加人数
平成27年 1月13日	事例検討会（坂戸市） 助言者 臨床心理士 小笠原 美江 氏	11

(4) 長期療養児教室

疾病により長期療養を必要とする児童の療養生活に関する指導や、保護者同士の情報交換等を行ない、長期療養児童の地域における健やかな成長発達を支援することを目的に実施している。

平成26年度

開催月日	内 容	参加人数
平成27年 2月3日	講演会 「子どもの矯正治療について」 講師 明海大学歯学部 形態機能成育学講座 歯科矯正分野 歯科医師博士 真野 樹子 氏	26 *子ども 4

(5) 母子保健連携調整推進会議

市町および医療機関等の連携強化を目的として開催している。

平成26年度

開催月日	内 容	参加人数
平成27年 3月13日	1 周産期に医療機関と市町母子保健担当者が連携して対応した事例の報告 2 医療機関、市町母子保健担当者との意見交換	21 *内訳 近隣NICU 管内産科機関 助産所 管内市町

(6) 不妊治療費助成事業

平成16年4月1日から、不妊治療（体外受精及び顕微授精）の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成している。

平成26年度申請件数 154件

(7) 結核児童療育給付

骨関節結核その他の結核にかかっている児童に対して、医療の給付及び学習用品や日用品の支給が行われている。平成26年度の療育給付申請はなかった。

(8) 相談・指導状況

ア 訪問指導

平成26年度

		妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児	幼児	学齢期	計
訪問	実人員	—	—	—	—	2	3	14	19
	延べ人員	—	—	—	—	2	4	26	32

イ 保健指導

平成26年度

		妊婦	産婦	乳児	幼児	学齢期	計
保健指導	実人員	—	2	10	16	84	112
	延べ人員	—	2	20	29	179	230

ウ 電話相談

延べ人員 817人

### 3 難病対策

(1) 指定難病等医療給付事業受給者状況

「難病の患者に対する医療等に関する法律」が平成27年1月から施行され、医療費助成制度が変わりました。

原因が不明で治療方法が確定していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が指定する疾病を「指定難病」といい、県単独の指定難病等とともに医療給付を行い、適正な医療の普及と患者の医療費の負担軽減を図っている。

平成27年3月31日現在

	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
国指定難病	1534	651	419	268	88	108
県指定難病	9	2	4	1	2	0
特定疾患	6	0	4	1	0	1
計	1549	653	427	270	90	109

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況

児童福祉法第19条の2に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した疾病の医療にかかる費用の一部を県が助成し、児童等の家庭の医療費の負担軽減を図るもので、平成27年1月から医療費助成制度が変わりました。

平成27年3月31日現在

疾患番号	疾患名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
1	悪性新生物	35	22	8	4	1	0
2	慢性腎疾患	22	10	6	3	0	3
3	慢性呼吸器疾患	8	2	4	2	0	0
4	慢性心疾患	48	18	21	5	1	3
5	内分泌疾患	43	21	15	5	1	1
6	膠原病	4	2	2	0	0	0
7	糖尿病	10	4	4	1	0	1
8	先天性代謝異常	1	0	0	1	0	0
9	血液疾患	6	5	1	0	0	0
10	免疫疾患	4	1	2	1	0	0
11	神経・筋疾患	5	2	2	1	0	0
12	慢性消化器疾患	1	0	0	0	1	0
13	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	1	1	0	0	0	0
14	皮膚疾患	1	0	0	0	1	0
	合計	189	88	65	23	5	8

(3) 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者状況

平成27年3月31日現在

疾患番号	疾患名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
99	先天性血液凝固因子欠乏症	9	5	3	1	0	0

#### (4) 相談・指導状況

平成26年度

		特 定 疾 患	小児慢性特定疾患	血液凝固因子欠乏症等
相 談	実人員	1, 539	205	8
	延べ人員	2, 308	332	8
訪 問	実人員	2	4	—
	延べ人員	4	4	—

#### (5) 医療講演会・研修会

患者・家族・支援者が、疾病を理解し、よりよい療養生活を送ることを目的に研修会を開催した。

平成26年度

開 催 日	内 容	参加人数
平成26年 7月17日	「広範脊柱管狭窄症 ～病気の正しい理解と上手なつきあい方～」 埼玉医科大学病院 整形外科 助教 永倉 大輔 先生	患者・家族・関係 者 20

#### (6) 患者・家族会

管内パーキンソン病患者家族会「すずらの会」と管内ALS患者家族会「すみれの会」への支援を行った。いずれの会も、月1回、学習会や情報交換・レクリエーション等のプログラムを作成し自主的に活動している。

平成26年度

グループ名	開 催 回 数	参加人数(延べ)
すずらの会	10	76
すみれの会	12	108

## 4 原子爆弾被爆者対策

広島市、長崎市への原子爆弾投下による被爆者手帳所持者に対し、医療費支給及び健康管理手当等の各種申請の受理を行った。

各種手当等申請件数 16件

## 5 感染症対策

平成11年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症新法)が施行され、一～五類感染症に類型化された。

平成19年3月31日に結核予防法が廃止され、同年4月1日から、結核は二類感染症となった。

(1) 感染症発生届及び健診等の状況

ア 感染症発生届の状況

平成26年度

類 型	届出件数	管内	管外	備 考
一類感染症	0	0	—	
二類感染症	36	36	—	届出は、全て結核
三類感染症	5	5	—	
四類感染症	3	3	—	
五類感染症	12	12		

イ 二類・三類感染症接触者等の健康診断（保菌検査）状況

平成26年度

類 型	接触者数	
二類感染症	0	
三類感染症	12	腸管出血性大腸菌感染症9人、腸チフス3人

(2) エイズ及びその他の性感染症対策

エイズ・性感染症対策推進のため、保健所では相談窓口を設け、電話相談等に応じるとともに、平日の月2回HIV抗体検査とその他の性感染症検査を実施している。

また、HIV抗体検査については、より多くの人を受診しやすいように、夜間に月1回実施している。

ア 相談件数

平成26年度

相談件数	内 訳 (件数)	
	面 接	電 話
388	216	172

イ HIV抗体・その他の性感染症検査実施状況

平成26年度

検査項目	検 査 件 数			陽 性 件 数			備 考
	計	男性	女性	計	男性	女性	
HIV	102	56	46	0	0	0	
夜間HIV(再掲)	(12)	(6)	(6)				
梅毒	80	47	33	1	1	0	
クラミジア	45	28	17	3	1	2	
HBV	82	47	35	0	0	0	
HCV	82	47	35	0	0	0	

(3) 結核対策

ア 管理検診及び接触者検健診状況

結核登録患者で、医学的状況を把握する必要のある者及び感染性結核患者の家族及び接触者に対し、健康診断を実施している。

平成26年度（人）

項目	受診者数	パルス反応	IGRA検査	間接撮影	直接撮影	断層撮影	喀痰	健診結果	
								患者発見数	潜在性結核感染症発見数
管理検診	3	—	—	—	3	—	—	0	—
接触者検診	221	0	130	—	120	—	—	0	8

イ 新登録患者数

(7) 年齢別、市町別

平成26年1月1日～平成26年12月31日（人）

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
計	27	12	6	5	1	3
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	6	3	0	0	0	0
30～39歳	2	1	1	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	1	0	0	0	0
60～69歳	5	1	4	2	0	0
70歳～	13	6	1	3	1	3

（潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。）

(4) 感染性分類、市町別

平成26年1月1日～平成26年12月31日（人）

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
計	27	12	6	5	1	3
喀痰塗抹陽性	13	3	2	4	1	3
その他菌陽性	7	3	3	1	0	0
菌陰性	5	4	1	0	0	0
肺外結核	2	2	0	0	0	0

（潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。）



ウ 結核登録患者数

平成26年12月31日末現在（人）

	総数	肺結核活動性			肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明
		登録時 喀痰塗 沫陽性	登録時 その他の 菌陽性	登録時 菌陰性・ その他			
管内	54	5	1	4	0	17	27
坂戸市	26	2	0	2	0	8	14
鶴ヶ島市	11	2	1	1	0	3	4
毛呂山町	11	1	0	1	0	4	5
越生町	3	0	0	0	0	2	1
鳩山町	3	0	0	0	0	0	3

（潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。）

エ 結核に関する個別支援

(7) 相談・訪問指導状況

平成26年度

相談		訪問指導			
電話 (延べ人員)	来所 (延べ人員)	実人員	(再掲) DOTS	延べ人員	(再掲) DOTS
330	269	22	15	52	38

DOTS：服薬支援を軸とした患者支援

(イ) 地域DOTSカンファレンス

服薬支援を実施するにあたり、患者の中断リスクを評価し、支援内容について検討している。

平成26年度

開催回数	支援区分別対象者数			A：原則毎日支援を要す B：週1回程度の支援を要す C：月1～2回程度の支援を要す
	A	B	C	
22回	0	0	48	

(4) 感染症に関する講演会・研修会

ア 感染症対策に関する研修会

管内給食施設を対象とした研修会の中で、感染症の集団発生予防を目的とした講義を行った。

平成26年度

開催日	内 容	参加人数
平成26年 ①7月23日 ②8月6日	「施設における感染症対策」 坂戸保健所 感染症担当保健師	管内給食施設職員 ① 185人 ② 54人

イ 性感染症に関する講演会

エイズ及び性感染症についての誤解や偏見を解消し、正しい知識の普及を図るため、

管内中学校の依頼に基づき健康講座を実施した。

平成26年度

開催日	内 容	参加人数
平成27年 3月4日	これだけは知っておきたい 「性感染症mini講座」 坂戸保健所 感染症担当保健師	坂戸市立千代田 中学校3年生・ 職員 130人

#### (5) 肝炎治療医療費助成制度

埼玉県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づき、平成20年4月から医療費助成制度が開始された。

平成26年9月にインターフェロンフリー（ダグラタスビル及びアスナプレビル併用療法）、平成26年12月にはバニプレビルを含むインターフェロン3剤併用療法の申請が追加された。

#### 肝炎治療医療費助成申請件数

平成26年度

	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	合 計
新規申請（3剤併用療法を除く インターフェロン治療）	2	4	1	0	0	7
2回目申請（3剤併用療法を除く インターフェロン治療）	0	0	0	1	0	1
3剤併用療法申請	11	5	10	8	5	39
有効期間延長（インターフェロ ン72週投与）	0	1	0	0	0	1
有効期間延長（シメプレビル延 長）	0	1	1	0	0	2
有効期間延長（インターフェロ ン副作用等延長）	0	0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療	26	21	53	27	4	131
新規申請（核酸アナログ製剤）	2	5	1	0	1	9
更新申請（核酸アナログ製剤）	38	18	16	10	5	87
合 計	79	55	82	46	15	277

## 6 精神保健福祉

保健所が実施する精神保健福祉事業は、ここ数年大きく変化してきている。従来は、統合失調症を中心とした疾病理解や、障害者の地域活動の拡大など普及や啓発に力点を置いた事業を展開してきたが、生活環境・社会構造の変化や、諸外国にも例を見ない急速な少子高齢化を迎え、ライフサイクルに適応した事業展開が求められている。

また、国、県及び市町村は、全国の自死者年間2万人を超えるという状態であり重要な課題として捉えており、「自死者ゼロ」を目指して様々な取組を実施してきている。

その他に、当保健所では社会的入院を余儀なくされている方々などへの支援として、関係機関との連携の基に地域移行支援事業も実施している。

平成22年度の県内保健所再編に伴い、川越市保健所管内における精神保健福祉法第27

条及び29条等（精神障害者の措置入院に関する事柄）に関する業務と、医療保護入院の届出などが、坂戸保健所の業務となった。

(1) 市町、関係機関等との会議・研修等

管内関係機関との連携を図ることを目的に、坂戸保健所管内精神保健福祉連絡会議を開催した。また、受け入れ条件が整えば病院から退院可能である精神障害者の円滑な地域移行を推進するため、精神障害者地域移行・定着支援連絡会を開催した。

平成26年度

事業名	開催回数	内 容	参加人数
精神保健福祉連絡会議	2回	事業計画・事業報告等	28
トピックス研修	2回	精神保健福祉法改正・法定書類事務	64

平成26年度

事業名	開催月日	内 容	参加人数
地域移行・定着支援連絡会	平成26年 6月26日	「家族と家族会支援について」 ～地域移行・定着支援の関わりを中心に～ 埼玉県立大学保健医療学部 看護学科 教授 横山恵子 氏	45
	平成26年 9月19日	「アルコール依存症と家族について」 ～あの人が残してくれた宝物～ 特定非営利法人 さいたまマック 影下 妙子 氏	20
	平成27年 2月13日	「ひきこもりの理解」 ～当事者と家族の想い～ 不登校・ひきこもり親の会 2名 ひきこもり当事者会（まどべ倶楽部） 2名	24

(2) 坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業

措置入院等により精神科病院入院時に保健所が関わった精神障害者について、円滑な地域移行を図るため、坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業を実施した。

平成26年度

事業名	開催回数	内 容	延べ参加者
坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業	9回	地域移行支援会議にて退院に向けた個別支援計画を検討。(27事例)	50名

(3) 自殺・うつ予防対策

自殺対策基本法に基づき、自殺予防・うつ対策に必要な知識を深め、地域ぐるみで心の

健康づくりに取り組むため、住民を対象に市町と共催して家族教室を実施するとともに、管内関係機関の連携を図ることを目的に自殺予防対策連絡会を開催した。

また、自殺対策に関する正しい理解と知識の普及を促進するため、ゲートキーパー養成講座を1回開催した。また、各市町実施のゲートキーパー養成講座に協力した。

平成26年度

事業名	開催回数	内容	延べ参加者
メンタルヘルス講演会 (管内市町と共催)	1回	心を楽にしてくれる考え方(ストレスマネジメント) 埼玉医科大学神経精神科・心療内科 助教 庄野 伸幸 氏	99名
自殺予防対策連絡会	2回	自殺予防対策事業計画・報告等	28名
ゲートキーパー養成講座	1回	ゲートキーパー養成講座 越生町	29名

#### (4) 当事者支援活動

ピアサポートの意義や役割など基本理念、セルフケアについてなど、ピアサポーターとして知っておきたい基本的な内容について、講義や話し合いを行いピアサポートについて学習する機会を提供した。

平成26年度

事業名	開催回数	内容	延べ参加者
ピアサポート講座 (管内市町と共催)	2回	ピアサポートについて知識獲得 ピアサポーターとの交流・体験談	38名
ピアサポート交流会 (ピュアブレンド)	11回	当事者会 テーマミーティング、音楽等	70名

#### (5) 精神保健相談及び訪問指導

面接及び電話等相談は、保健師と精神保健福祉相談員が随時対応している。

訪問指導は、家族や本人の了解を前提に、本人の病状並びに家庭や生活環境の実態を把握し、受診や療養、社会復帰や生活支援等について助言指導を行っている。

平成26年度 (件)

面接相談										電話 相談	訪問指導											
実 人 員	延 べ 人 員	延 べ 人 員 内 訳									延 べ 人 員	実 人 員	延 べ 人 員	延 べ 人 員 内 訳								
		老人 精神 保健	社会 復帰	アル コ ール	薬 物	ギ ャ ン ブ ル	思 春 期	健 康 づ く り	摂 食 障 害	そ の 他				老人 精神 保健	社会 復帰	アル コ ール	薬 物	ギ ャ ン ブ ル	思 春 期	健 康 づ く り	摂 食 障 害	そ の 他
92	185	12	11	16	11	0	23	40	0	72	611	179	346	11	10	18	9	0	30	52	0	216

## (6) ひきこもり相談

ひきこもりの状態にある本人及び家族からの相談に、保健師並びに精神保健福祉相談員等が随時相談に応じている。また、随時相談で受け付けた相談の中から、専門的な相談が必要と判断された場合、臨床心理士等が相談に応じている。

当保健所は、ひきこもりの方をもつ家族を対象とした家族の集い（マロードの会）の支援を継続的に行っているが、マロードの会が同じ境遇の方を対象とした自主講演会を行った際には、後援による支援を行った。

また、平成23年度からは、ひきこもり当事者の自主的なグループ活動（まどベクラブ）も開催されている。

平成26年度

内容	件数		
	来所10	電話37	訪問17
ひきこもり随時相談			
ひきこもり専門相談	回数	延べ参加者	
	8	11名	
ひきこもり家族教室（マロードの会）	4	82名	
当事者の集い（まどベクラブ）	4	16名	
マロードの会講演会（保健所後援） （平成27年1月12日） 講演「心の養生」 自由の森学園 中学高校スクール カウンセラー 西田 隆男 氏	マロードの会で企画し、同じ悩みを持つ家族を対象に講演会を実施した。 56名		

## (7) 社会復帰の支援

精神障害者の希望に応じ、その障害の状態を踏まえて、適切な施設や福祉制度・サービスの利用ができるよう相談に応じ調整を行っている。

また、保健所では、社会復帰事業として、一般の事業所に協力を求め、実際の職場で生活指導や職業訓練を受ける社会適応訓練事業を行っているが、平成26年度の利用者は0人であった。

## (8) 申請・通報等

措置入院とは、精神疾患によって自傷他害のおそれのある者を複数の精神保健指定医の診察の結果、入院治療の必要が診断された場合に行政措置して入院させるものである。しかし精神医療の入院等には、疾病の性格上、本人の意志に反し医療や保護を加える場合が少なくないために「精神保健福祉法」で人権に対する格段の配慮や規制が定められている。

平成22年度から、川越市保健所管内で発生した精神保健福祉法第23条から第26条2項等の通報・届出は坂戸保健所が対応することとなり、対応件数は年々増加傾向にある。

平成26年度 (件)

区 分	申請・通報件数	指定医の診察	診 察 結 果	
			非該当	該当
計	103	76	25	51
23条	0	0	—	0
24条	75	71	25	46
25条	5	5	0	5
26条	23	0	—	—
26条の2	0	—	—	—

(埼玉県救急情報センター対応事例を含む)

## 7 石綿健康被害の救済

石綿による健康被害を受けた本人又はその遺族のうち、労災補償等の対象とならない者に対し迅速な救済を図ることを目的として、「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、救済給付の支給を行っている。

対象となる疾病は、従前からの①石綿による中皮腫、②石綿による肺がんに加え、平成22年7月1日から③著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、④著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚が追加になった。

なお、この制度の開始(平成18年3月27日)以前に、これらの疾病のいずれかで死亡した遺族についても、給付の請求をすることができる。

平成26年度

相 談	申請書受付
1件	0件

## 8 保健師現任教育

### (1) 県・市町保健師連絡調整会議

開催要領に基づき、保健師の資質向上を図り、県民の健康福祉サービスの向上に寄与することを目的に会議及び研修を実施した。

平成26年度

開催日	内 容	参加人数
第1回 平成26年 6月24日	地域別会議 ・保健師の配置状況 ・現任教育の現状と課題	11
第2回 平成27年 3月20日		9

(2) 新任保健師研修会

新任期保健師を対象に、保健師の資質向上を目的に研修を実施した。

平成26年度

開催日	内 容	参加人数
平成26年 6月30日	第1回 テーマ：「保健師活動について考える」 内 容：地区診断結果の発表と意見交換	9
平成27年 2月12日	第2回 テーマ：「相談の受け方」 内 容：講義とグループワーク 講 師：臨床心理士 小笠原美江氏	10

(3) 事例検討会

管内の保健福祉関係職員を対象に事例検討を実施した

平成26年度

開催日	内 容	参加人数
第1回 平成26年 7月10日	テーマ：「事例検討会をケースマネージメント に生かそう」 内 容：講義及び実践 講 師：臨床心理士 菊池礼子氏	11
第2回 平成26年 8月21日		9

◆ 生活衛生・薬事担当 ◆

1 医薬品・血液等の安全確保

(1) 薬務関係施設数及び監視状況

医薬品等や毒物劇物は、安全・有効で、一定の品質が保持され、かつ、適正に供給されなければならない。そのため、販売業者、使用者等に随時立入検査を行い、不良品、不正表示品等を排除し、これらによる危害の防止を図った。

平成26年度

業種	施設総数	新規数	更新数	監視数	
合計	601	65	20	222	
薬局	97	8	10	59	
医薬品製造業(薬局)	9	0	0	4	
医薬品製造販売業(薬局)	9	0	0	4	
小計	405	47	3	126	
医薬品等販売業	店舗販売業	39	5	—	27
	卸売販売業	10	3	0	1
	再生医療等製品販売業	1	1	0	1
	高度管理医療機器販売業	80	11	2	54
	高度管理医療機器貸与業	29	4	1	17
	管理医療機器販売業	233	18	—	26
	管理医療機器貸与業	13	5	—	0
毒物・劇物	計	16	0	2	6
	大臣登録分	4	0	2	5
	知事登録分	12	0	0	1
	計	4	0	2	3
	大臣登録分	3	0	2	3
	知事登録分	1	0	0	0
販売業	計	62	10	3	20
	一般販売業	54	10	2	18
	農業用品目販売業	8	0	1	2
	特定品目販売業	0	0	0	0
	業務上取扱者	1	0	—	0



(2) 麻薬・覚せい剤関係

麻薬・覚せい剤等による保健衛生上の危害を防止するため、医療用又は研究用に使用される麻薬等を取り扱う者の免許・許可を行い、また、関係施設に対し報告を徴し立入検査を実施した。

また、これらの薬物の乱用を防止するために埼玉県坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会と協力して、研修会、街頭啓発活動を行った。

平成26年度

	計	卸売業者	小売業者	研究者	管理者	施用者
麻薬取扱者数	1,245	3	167	14	54	1007

平成26年度

麻薬取扱施設	計	卸売販売業	薬局	病院	診療所	飼養動物診療施設	研究施設
施設数	341	3	167	35	91	33	12
監視数	117	2	75	30	8	1	1

埼玉県坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会

平成22年6月に設立され、埼玉県知事から委嘱を受けた薬物乱用防止指導員30人で構成されている。

平成26年度

事業	研修会	講習会	街頭啓発活動等
実施回数	2	18	21
参加人員等	72	5,496	12,615

(3) 献血推進事業

良質で安全な血液の安定的な確保のため、需要に見合った採血計画の基に、献血の推進を図った。

市町別献血事業実績（受付実績）

平成26年度（移動採血車による）

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
献血者数	3,959	1,411	1,267	710	279	292

## 2 食品の安全性の確保

### (1) 食品衛生関係営業

#### ア 食品衛生法に基づく許可施設数（市町別）

平成26年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	3,251	1,398	948	569	191	145
飲 食 店 営 業	1,847	801	529	336	106	75
内 (一般食堂・レストラン等)	663	246	200	128	55	34
(仕出し屋・弁当屋)	57	23	19	10	2	3
(旅 館)	15	4	6	4	1	0
訳 (そ の 他)	1112	528	304	194	48	38
喫 茶 店 営 業	240	116	83	23	6	12
菓 子 製 造 業	194	74	58	39	15	8
あ ん 類 製 造 業	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	1	0	1	0	0	0
乳 処 理 業	0	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0	0
乳 製 品 製 造 業	0	0	0	0	0	0
集 乳 業	0	0	0	0	0	0
乳 類 販 売 業	432	184	123	78	26	21
食 肉 処 理 業	15	8	3	1	1	2
食 肉 販 売 業	216	91	66	38	13	8
食 肉 製 品 製 造 業	2	2	0	0	0	0
魚 介 類 販 売 業	198	81	64	32	13	8
魚介類せり売営業	0	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	20	11	7	2	0	0
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	2	0	0	1	1	0
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0	0
氷 雪 製 造 業	0	0	0	0	0	0
氷 雪 販 売 業	3	2	0	1	0	0
食用油脂製造業	0	0	0	0	0	0
マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0	0	0
み そ 製 造 業	10	3	0	3	0	4
醬 油 製 造 業	1	1	0	0	0	0
ソ ー ス 類 製 造 業	3	1	1	1	0	0
酒 類 製 造 業	3	0	0	1	2	0
豆 腐 製 造 業	13	6	1	3	3	0
納 豆 製 造 業	1	0	0	1	0	0
め ん 類 製 造 業	18	6	2	3	3	4
そうざい製造業	28	9	9	5	2	3
缶詰又は瓶詰食品製造業	2	2	0	0	0	0
添 加 物 製 造 業	2	0	1	1	0	0

イ 食品衛生に関する条例に基づく許可施設数（市町別）

平成26年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	879	330	214	161	116	58
菓子種製造業	1	1	0	0	0	0
こんにゃく類製造業	8	0	1	5	0	2
つけ物製造業	66	6	4	9	38	9
魚介類加工業	4	2	2	0	0	0
食料品販売業	792	315	207	147	76	47
魚介類行商	0	0	0	0	0	0
食料品行商	8	6	0	0	2	0
豆腐行商	0	0	0	0	0	0

ウ 許可を要しない食品営業等施設数（市町別）

平成26年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	201	76	35	45	23	22
給食施設小計	123	53	29	19	11	11
内 訳	学 校	31	23	2	1	1
	病 院 ・ 診 療 所	8	2	3	2	1
	事 業 所	12	3	5	3	1
	そ の 他	72	25	19	13	8
その他の食品製造業	78	23	6	26	12	11

(2) 食中毒発生防止等の対策

食品関係営業者及び一般消費者を対象とした食中毒予防についての講習会の実施

ア 講習会の開催

平成26年度

区 分	回 数	受 講 者(人)
合 計	20	995
食品営業関係従事者	9	277
食品衛生責任者等	2	290
そ の 他	9	428

イ 食中毒事件の調査等

平成26年度 0件

### 3 生活環境の確保

#### (1) 衛生的な生活環境の確保

##### ア 環境衛生関係営業施設数

平成26年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	監視件数
総数	749	326	228	120	42	33	182
理容所	192	83	59	37	7	6	36
美容所	367	175	117	48	10	17	66
クリーニング	140	55	40	25	14	6	45
内 一般	34	17	9	6	1	1	11
取次	103	37	30	19	13	4	32
訳 特定洗濯物	3	1	1	0	0	1	2
公衆浴場	24	6	3	5	6	4	24
内 一般	1	1	0	0	0	0	1
訳 その他	23	5	3	5	6	4	23
興行場	3	1	1	0	1	0	1
内 映画	1	0	1	0	0	0	1
スポーツ	0	0	0	0	0	0	0
訳 その他	2	1	0	0	1	0	0
旅館業	23	6	8	5	4	0	10
内 ホテル	12	4	7	1	0	0	6
旅館	8	2	1	2	3	0	3
簡易宿所	3	0	0	2	1	0	1
訳 下宿	0	0	0	0	0	0	0

##### イ 環境衛生関係施設数

平成26年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
火葬場	1	0	0	0	1	0
納骨堂	5	2	1	1	1	0
墓地	1751	374	72	330	620	355
特定建築物	30	百貨店4・店舗11・事務所7・学校3・旅館2・興行場1・その他2				

##### ウ 建築物の環境衛生管理事業者登録数

平成26年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総数	16	7	5	4	0	0
建築物清掃業	2	0	1	1	0	0
建築物空気環境測定業	0	0	0	0	0	0
建築物空気調和用ガ外清掃業	0	0	0	0	0	0
建築物飲料水水質検査業	0	0	0	0	0	0
建築物飲料水貯水槽清掃業	8	4	2	2	0	0
建築物排水管清掃業	3	1	1	1	0	0
建築物ねずみこん虫等防除業	2	1	1	0	0	0
建築物総合管理業	1	1	0	0	0	0

エ 水道施設数

平成26年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総 数	2	1	0	1	0	0
種 別	簡易水道事業	1	1	0	0	0
	専用水道	1	—	—	1	—
	自家用水道	0	—	—	0	—

オ プール維持管理の指導

「埼玉県プールの安全安心要綱」に基づき、施設及び水質の維持管理の状況について監視を行った。

平成26年度

項 目	合 計	公 営	民 営
施 設 数	7	2	5
プールの数	19	7	12
監視件数	9	3	6

カ 居住環境等に係る相談

近年、住宅様式の変化に伴い、人体における室内化学物質の影響が問題になっている。

項 目	合 計	ねずみ	衛生害虫	蜂等の昆虫	ダニ	ノミ	他の生き物	VOC*	カビ等	その他
相談数	33	4	9	4	7	0	3	1	0	5

\* VOCとは、ホルムアルデヒド、トルエン、ベンゼン、テトラクロロエチレン等の揮発性有機化学物質をいう。

キ 飲料水等検査受付検体数及び不適検体数

平成26年度

区 分	合計	上水道	簡易水道	専用水道	簡易専用水道	小規模受水槽	自家用水道	その他の水道	井戸水等
検体数	46	0	0	0	2	3	0	1	40
不適数(再掲)	19	0	0	0	0	0	0	0	19

(2) 動物の適正な飼育管理

ア 犬の登録・狂犬病予防注射実施状況

平成26年度

項目	総数	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
登録頭数	12,217	4,821	3,335	2,048	787	1,226
※新規登録頭数	726	310	174	126	51	65
注射済票交付数	8,759	3,620	2,329	1,401	595	814

イ 犬の收容、処理等の状況

平成26年度

収 容			処 理					そ の 他	
総 数	捕 獲	飼 養 放 棄	総 数	指導センター 送致数	飼い主 返 還	保健所 処理数	取下げ	前年度 繰越分	次年度 へ繰越
58	45	13	59	36	21	2	0	1	0

ウ 苦情・相談処理状況

平成26年度

総 数	捕獲 依頼	犬の引取 依 頼	放し飼い 取締依頼	咬傷事件 関 係	家畜農作 物 被 害	糞尿 関係	鳴き声	その他
499	81	35	24	29	0	11	32	287

エ 犬の事故届出数

平成26年度

発生件数	咬 傷			被咬傷人数	咬傷以外 発生件数
	狂 犬 病 の 鑑 定				
	狂犬病数	疑狂犬病数	非狂犬病数		
17	0	0	17	18	1

オ 第一種動物取扱業の登録状況

平成26年度

施 設 数	業 種 別						
	販 売	保 管	貸出し	訓 練	展 示	競りあつせん	譲受飼養
76	36	47	1	15	11	0	0

※一部重複している

カ 第二種動物取扱業の届出状況

平成26年度

施 設 数	業 種 別				
	譲渡し	保 管	貸出し	訓 練	展 示
1	1	1	0	0	0

キ 特定動物飼養保管許可状況

平成26年度

施 設 数	動 物 種		
	ニホンザル	ワニガメ	ヨウスコウワニ
3	1	1	1 (移動用)

【参考資料】

1 各種協議会等委員名簿

〈敬称略〉

(1) 埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療協議会委員名簿

平成27年7月1日現在

氏 名	役 職 名	備 考
小 川 郁 男	坂戸鶴ヶ島医師会長	会長
関 本 幹 雄	川越市医師会長	副会長
瀬 川 豊	比企医師会長	副会長
小 川 俊 夫	川越市歯科医師会長	
関 口 一 春	入間郡市歯科医師会長	
長 嶺 芳 昭	比企郡市歯科医師会長	
天 野 勉	川越市薬剤師会長	
平 塚 大	坂戸鶴ヶ島市薬剤師会長	
清 水 元 之	東松山薬剤師会長	
堤 晴 彦	埼玉医科大学総合医療センター病院長	
金 澤 實	埼玉医科大学病院病院長	
森 本 義 博	小川赤十字病院院長	
田 中 久 子	女子栄養大学教授	
平 嶋 正 子	鳩山町食生活改善推進員協議会会長	
作 山 すみ子	吉見町母子愛育会会長	
関 根 水 絵	川越市保健医療部長	
大 澤 光 昭	坂戸市市民健康部長	
平 井 教 子	鶴ヶ島市健康福祉部参事	
山 口 和 彦	東松山市健康福祉部長	
田 口 雄 一	毛呂山町保健センター所長	
荻 野 潤 一	埼玉県西部福祉事務所長	
丸 山 浩	川越市保健所長	
関 井 秀 明	埼玉県東松山保健所長	
川 南 勝 彦	埼玉県坂戸保健所長	

<敬称略>

(2) 坂戸・飯能地区救急医療対策協議会委員名簿

平成27年度

氏名	役職名	備考
小川郁男	坂戸鶴ヶ島医師会長	会長
石井道夫	飯能地区医師会長	副会長
横川勇	鳩山町健康福祉課長	副会長
鈴木将夫	入間地区医師会副会長	
関口一春	入間郡市歯科医師会長	
佐瀬武	佐瀬病院院長	
峰田喬臣	飯能中央病院院長	
木川泰宏	医療法人泰一会飯能整形外科病院院長	
土屋長二	坂戸中央病院院長	
田中政彦	医療法人関越病院病院長	
西蔵ツワン	武蔵台病院病院長	
高木進	旭ヶ丘病院病院長	
岡村維摩	岡村記念クリニック院長	
小山勇	埼玉医科大学国際医療センター病院長	
金澤實	埼玉医科大学病院病院長	
高野正義	飯能市健康推進部長	
大澤光昭	坂戸市市民健康部長	
平井教子	鶴ヶ島市健康福祉部参事	
新井義雄	日高市健康福祉部長	
田口雄一	毛呂山町保健センター所長	
山口博正	越生町健康福祉課長	
加藤公司	坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部消防長	
瀬波行男	西入間広域消防組合消防本部消防長	
藤宮直樹	埼玉西部消防組合消防局消防局長	
中島守	埼玉県狭山保健所長	
川南勝彦	埼玉県坂戸保健所長	



(3) 埼玉県坂戸保健所感染症診査協議会委員名簿

平成27年度

役職名	氏名	所属機関名
委員長	仲村秀俊	埼玉医科大学病院
委員	俵英之	たわらクリニック
委員	川上泰祐	川上司法書士事務所

〈敬称略〉

2 坂戸保健所管内各市町・保健センター一覧

機 関 名	所 在 地	電 話 番 号	F A X 番 号
坂戸市役所 市民健康センター	〒350-0292 坂戸市千代田1-1-1	049-283-1331	049-283-3903
	〒350-0212 坂戸市石井2327-3	049-284-1621	049-284-3939
鶴ヶ島市役所 保健センター	〒350-2292 鶴ヶ島市三ツ木16-1	049-271-1111	049-271-1190
	〒350-2213 鶴ヶ島市脚折1922-10	049-271-2745	049-271-2747
毛呂山町役場 保健センター	〒350-0493 毛呂山町中央2-1	049-295-2112	049-295-0771
	〒350-0436 毛呂山町川角305	049-294-5511	049-295-5850
越生町役場 保健センター	〒350-0494 越生町越生900-2	049-292-3121	049-292-5400
	〒350-0416 越生町越生917	049-292-5505	049-292-5623
鳩山町役場 保健センター	〒350-0392 鳩山町大豆戸184-16	049-296-1211	049-296-2594
	〒350-0324 鳩山町大豆戸183-1	049-296-2530	049-296-2832

3 坂戸保健所管内関係団体一覧

平成27年度

各 団 体	職 名	氏 名
坂戸鶴ヶ島医師会	会 長	小 川 郁 男
入間地区医師会	会 長	小 室 順 義
比企医師会	会 長	瀬 川 豊
埼玉医科大学医師会	会 長	片 山 茂 裕
入間郡市歯科医師会	会 長	関 口 一 春
第4支部（越生・毛呂山）	支部長	鷺 谷 剛
第5支部（坂戸・鶴ヶ島）	支部長	大 場 敏 男
坂戸鶴ヶ島歯科医師会	会 長	川 崎 剛
比企郡市歯科医師会	会 長	長 嶺 芳 昭
坂戸鶴ヶ島市薬剤師会	会 長	平 塚 大
坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会	会 長	吉 田 弘
西入間狂犬病予防協会	会 長	遠 田 淳
坂戸保健所管内食品衛生協会	会 長	小 林 三 七 男
坂戸保健所管内環境衛生協会	会 長	荒 川 重 正
坂戸市食生活改善推進員協議会	会 長	岡 田 佳 子
鶴ヶ島市食生活改善推進員協議会	会 長	佐久間 眞里子
毛呂山町食生活改善推進員協議会	会 長	新 井 菊 枝
越生町食生活改善推進員協議会	会 長	手 嶋 正 子
鳩山町食生活改善推進員協議会	会 長	平 嶋 正 子
坂戸保健所管内給食管理者研究会	会 長	改 田 剛 俊
地域活動栄養士会（れもんの会）	会 長	角 田 津 笑 子

## 4 健康相談・各種検査等定例事業一覧

平成27年度

名 称	実 施 日	受 付 時 間	備 考
管理検診・接触者健診 (ツベルクリン検査・ 胸部レントゲン撮影)	毎月 第2水曜日	午後3時00分～4時00分	予約制
管理検診・接触者健診 (ツ反判定・胸部レント ゲン撮影)	毎月 第2水曜日の 翌々日	午後3時00分～4時00分	予約制
接 触 者 健 診 (QFT検査)	毎月 第3月曜日	午前9時30分～11時00分	予約制
こどもの心の健康相談	毎月 第4水曜日	午後1時30分～4時00分	予約制
エイズ抗体検査・相談 性感染症検査	毎月 第2・4月曜日 (第4月曜日のみ、 夜間検査あり)	午前9時00分～10時00分 ※夜間はエイズ抗体検査のみ 午後5時30分～6時30分	予約制
ひきこもり専門相談事業	毎月 第4火曜日 (原則)	午前10時00分～12時00分	予約制
水 質 検 査	坂戸保健所 毎月 第2・4月曜日	午前8時30分～9時30分	休日を除く

# 人 口 動 態 統 計

## □ 人口動態統計

(1) 人口動態統計総覧 .....	5 2
(2) 人口動態概況 .....	5 3
(3) 年齢3区分別の人口推移 .....	5 4
(4) 出生 .....	5 8
ア 出生率の年次推移（人口千対）.....	5 8
イ 体重別・市町別出生数 .....	5 9
ウ 母の年齢別・出生順位別出生数 .....	6 0
エ 母の年齢別・市町別出生数 .....	6 0
(5) 死亡 .....	6 1
ア 死亡率の年次推移（人口千対）.....	6 1
イ 死因別・市町別死亡数（死因简单分類別）.....	6 2
ウ 市町別死因順位と割合（％）.....	6 4
エ 乳児死亡率の年次推移（人口千対）.....	6 5
オ 新生児死亡率の年次推移（人口千対）.....	6 6
カ 周産期死亡率の年次推移（人口千対）.....	6 6
(6) 死産 .....	6 7
ア 死産率の年次推移（出産千対）.....	6 7
イ 自然死産率の年次推移（出産千対）.....	6 8
ウ 人工死産率の年次推移（出産千対）.....	6 8
(7) 婚姻 .....	6 9
(8) 離婚 .....	7 0
(9) 合計特殊出生率 .....	7 1
(10) 比率の解説.....	7 2

◆人口動態◆

(1) 人口動態統計総覧

(人、件) 平成25年

項目	出生数	死亡数	乳児		死産数			周産期死亡数	婚姻数	離婚数
			死亡数	新生児死亡数	総数	自然	人工			
全 国	1,029,816	1,268,436	2,185	1,026	24,102	10,938	13,164	3,862	660,613	231,383
埼 玉 県	57,470	60,264	114	50	1,401	697	704	216	36,279	13,138
管 内	1,503	1,967	2	1	25	9	16	4	915	449
坂 戸 市	702	787	2	1	14	6	8	2	399	210
鶴ヶ島市	525	528	-	-	8	2	6	1	309	131
毛呂山町	173	381	-	-	2	-	2	-	127	64
越 生 町	59	133	-	-	1	1	-	1	43	22
鳩 山 町	44	138	-	-	-	-	-	-	37	22

項目	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率			周産期死亡率	婚姻率	離婚率	合計特殊出生率
					総数	自然	人工				
全 国	8.2	10.1	2.1	1.0	22.9	10.4	12.5	3.7	5.3	1.84	1.43
埼 玉 県	8.1	8.4	2.0	0.9	23.8	11.8	12.0	3.7	5.1	1.84	1.33
管 内	6.3	8.3	1.3	0.7	16.4	5.9	10.5	2.7	3.9	1.90	1.07
坂 戸 市	6.9	7.7	2.8	1.4	19.6	8.4	11.2	2.8	3.9	2.07	1.15
鶴ヶ島市	7.5	7.5	-	-	15.0	3.8	11.3	1.9	4.4	1.86	1.15
毛呂山町	4.5	10.0	-	-	11.4	-	11.4	-	3.3	1.68	0.86
越 生 町	4.9	11.0	-	-	16.7	16.7	-	16.7	3.6	1.82	0.91
鳩 山 町	3.0	9.5	-	-	-	-	-	-	2.5	1.51	0.63

(2) 人口動態概況

平成25年

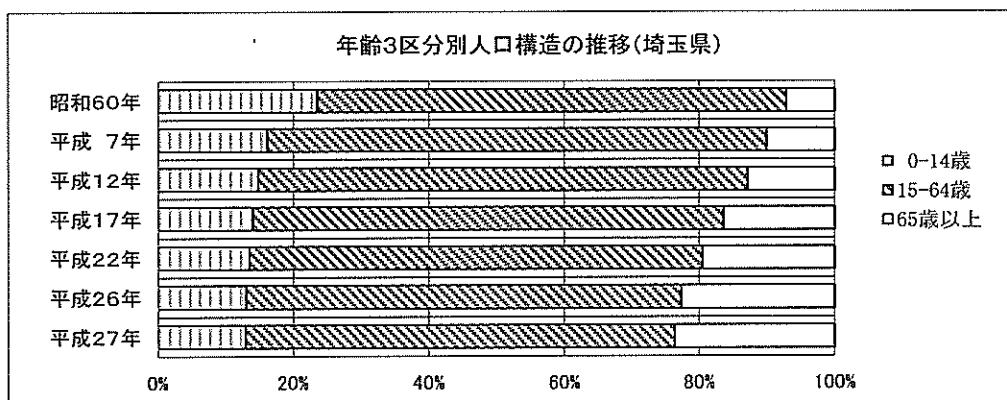
	出生	死亡	乳児死亡	死産	婚姻	離婚
件数	1,503	1,967	2	25	915	449
率	6.3	8.3	1.3	16.4	3.9	1.90
平均発生 間隔	5時間49分42秒	4時間27分13秒	182日12時間0分	14日14時間24分	9時間34分26秒	19時間30分36秒
平均1日 件数	4.1	5.4	0.01	0.1	2.5	1.2

(注) 出生率、死亡率、婚姻率、離婚率は人口千対、  
乳児死亡率は出生千対、死産率は出産千対である。

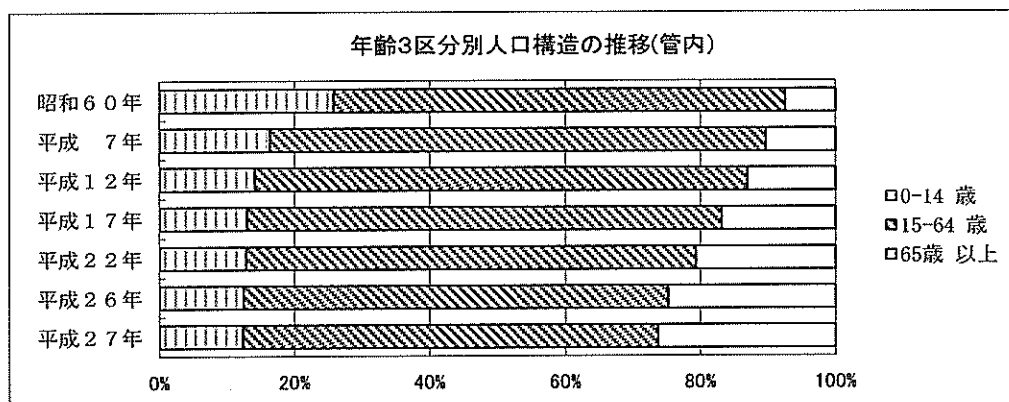


(3) 年齢3区分別の人口推移

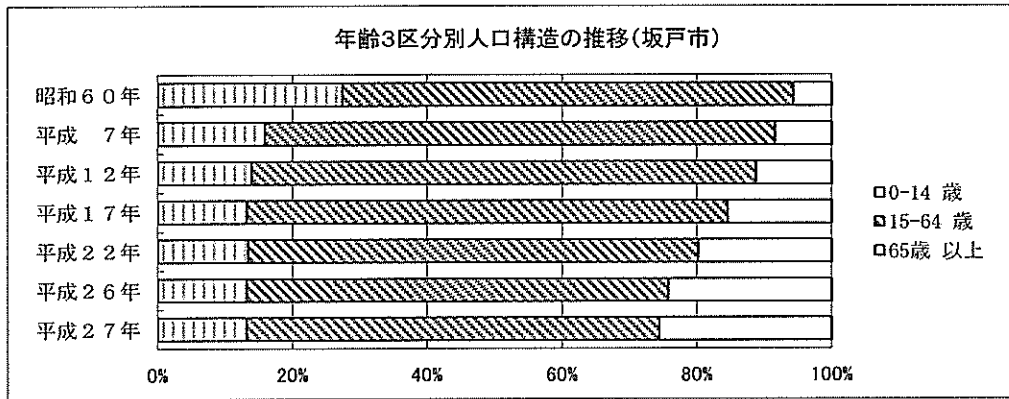
埼玉県	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	5,863,678	1,380,180	4,060,573	420,099	23.5	69.3	7.2	10.3	30.4
平成7年	6,759,311	1,090,395	4,976,945	681,172	16.2	73.7	10.1	13.7	62.5
平成12年	6,938,006	1,024,787	5,011,202	889,243	14.8	72.4	12.8	17.7	86.8
平成17年	7,054,243	986,361	4,892,253	1,157,006	14.0	69.4	16.4	21.8	108.7
平成22年	7,242,418	980,583	4,844,978	1,416,857	13.5	66.9	19.6	29.2	144.5
平成26年	7,288,772	951,164	4,683,698	1,653,910	13.0	64.3	22.7	35.3	173.9
平成27年	7,304,817	944,689	4,630,811	1,729,317	12.9	63.4	23.7	37.3	183.1



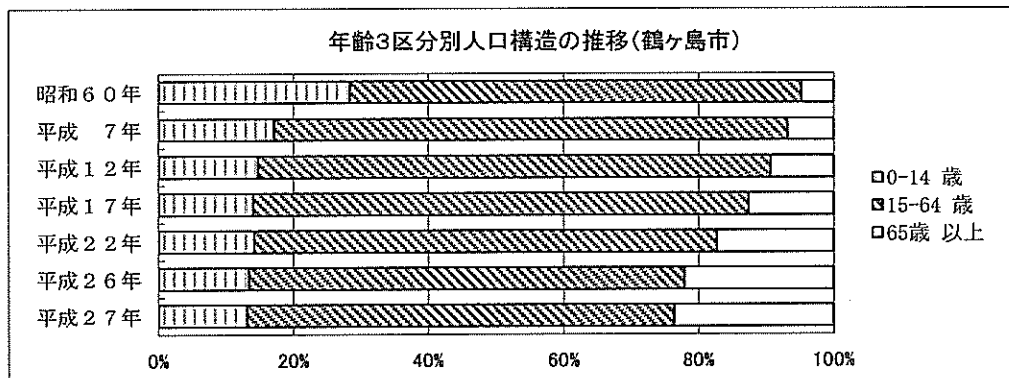
管内	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	314,323	81,037	209,803	23,384	25.8	66.8	7.4	11.1	28.9
平成7年	373,981	61,185	274,054	38,597	16.4	73.3	10.3	14.1	63.1
平成12年	375,100	52,959	273,158	48,846	14.1	72.8	13.0	17.9	92.2
平成17年	375,689	48,701	263,430	63,008	13.0	70.1	16.8	23.9	129.4
平成22年	377,394	48,426	250,894	78,074	12.8	66.5	20.7	31.1	161.2
平成26年	234,062	29,215	146,804	58,043	12.5	62.7	24.8	39.5	198.7
平成27年	233,470	28,834	143,273	61,363	12.4	61.4	26.3	42.8	212.8



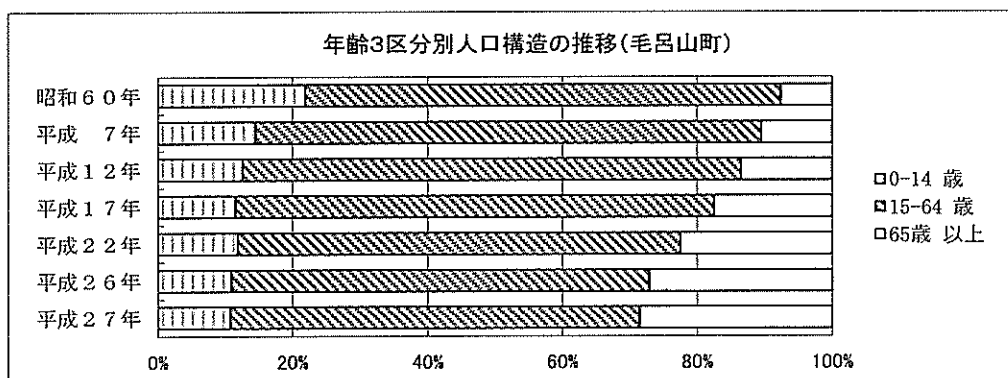
坂戸市	総人口 (人)	年齢3区分別人口 (人)			構成割合 (%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	87,586	23,977	58,553	5,001	27.4	66.9	5.7	8.5	20.9
平成7年	98,221	15,578	74,334	8,263	15.9	75.7	8.4	11.1	53.0
平成12年	97,381	13,562	72,871	10,926	13.9	74.8	11.2	15.0	80.6
平成17年	98,964	13,031	70,605	15,199	13.2	71.3	15.4	21.5	116.6
平成22年	101,240	13,590	67,591	20,059	13.4	66.8	19.8	29.7	147.6
平成26年	101,069	13,382	63,220	24,467	13.2	62.6	24.2	38.7	182.8
平成27年	101,203	13,376	61,951	25,876	13.2	61.2	25.6	41.8	193.5



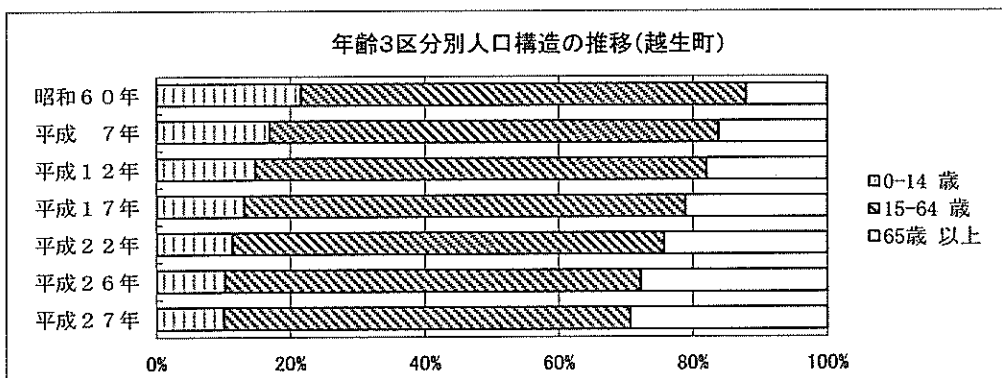
鶴ヶ島市	総人口 (人)	年齢3区分別人口 (人)			構成割合 (%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	49,381	13,974	33,016	2,375	28.3	66.9	4.8	7.2	17.0
平成7年	66,208	11,303	50,320	4,524	17.1	76.1	6.8	9.0	40.0
平成12年	67,638	9,971	51,330	6,319	14.7	75.9	9.3	12.3	63.4
平成17年	69,783	9,803	51,155	8,823	14.0	73.3	12.6	17.2	90.0
平成22年	69,945	9,888	47,913	12,144	14.1	68.5	17.4	25.3	122.8
平成26年	70,218	9,422	45,247	15,549	13.4	64.4	22.1	34.4	165.0
平成27年	70,184	9,222	44,364	16,598	13.1	63.2	23.6	37.4	180.0



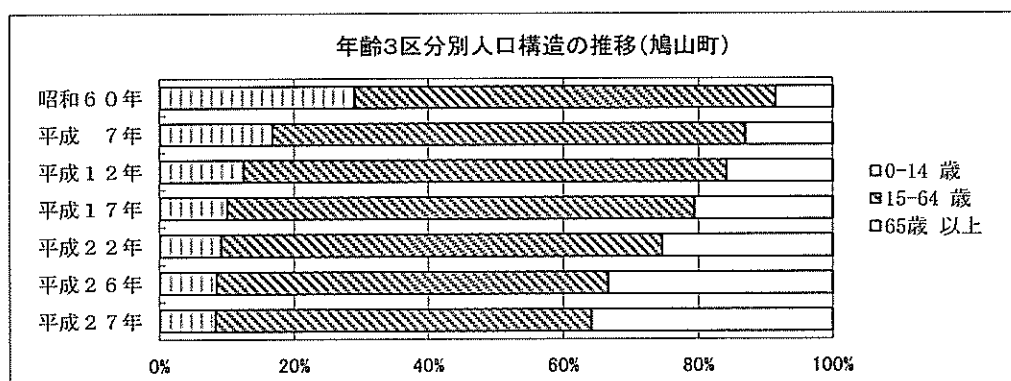
毛呂山町	総人口 (人)	年齢3区分別人口 (人)			構成割合 (%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	34,467	7,536	24,300	2,625	21.9	70.5	7.6	10.8	34.8
平成7年	39,808	5,779	29,851	4,175	14.5	75.0	10.5	14.0	72.2
平成12年	39,711	4,984	29,349	5,368	12.6	73.9	13.5	18.3	107.7
平成17年	39,122	4,477	27,534	6,823	11.4	70.4	17.4	24.8	152.4
平成22年	36,783	4,358	24,142	8,283	11.8	65.6	22.5	34.3	190.1
平成26年	35,615	3,887	22,081	9,647	10.9	62.0	27.1	43.7	248.2
平成27年	35,304	3,794	21,424	10,086	10.7	60.7	28.6	47.1	265.8



越生町	総人口 (人)	年齢3区分別人口 (人)			構成割合 (%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	11,622	2,510	7,706	1,406	21.6	66.3	12.1	18.2	56.0
平成7年	13,609	2,295	9,108	2,204	16.9	66.9	16.2	24.2	96.0
平成12年	13,718	2,030	9,212	2,468	14.8	67.2	18.0	26.8	121.6
平成17年	13,356	1,750	8,783	2,812	13.1	65.8	21.1	32.0	160.7
平成22年	13,012	1,476	8,374	3,162	11.3	64.4	24.3	37.8	214.2
平成26年	12,448	1,273	7,710	3,465	10.2	61.9	27.8	44.9	272.2
平成27年	12,309	1,239	7,458	3,612	10.1	60.6	29.3	48.4	291.5



鳩山町	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化 指数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	13,931	4,045	8,695	1,187	29.0	62.4	8.5	13.7	29.3
平成7年	17,973	3,017	12,611	2,339	16.8	70.2	13.0	18.5	77.5
平成12年	17,008	2,127	12,172	2,687	12.5	71.7	15.8	22.1	126.3
平成17年	15,985	1,608	11,086	3,291	10.1	69.4	20.6	29.7	204.7
平成22年	15,567	1,423	10,194	3,950	9.1	65.5	25.4	38.7	277.6
平成26年	14,712	1,251	8,546	4,915	8.5	58.1	33.4	57.5	392.9
平成27年	14,470	1,203	8,076	5,191	8.3	55.8	35.9	64.3	431.5



(注) 昭和60年、平成7年、平成12年、平成17年、平成22年は国勢調査による。(毎年10月1日現在)  
 平成26年以降は、1月1日現在の埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告による。

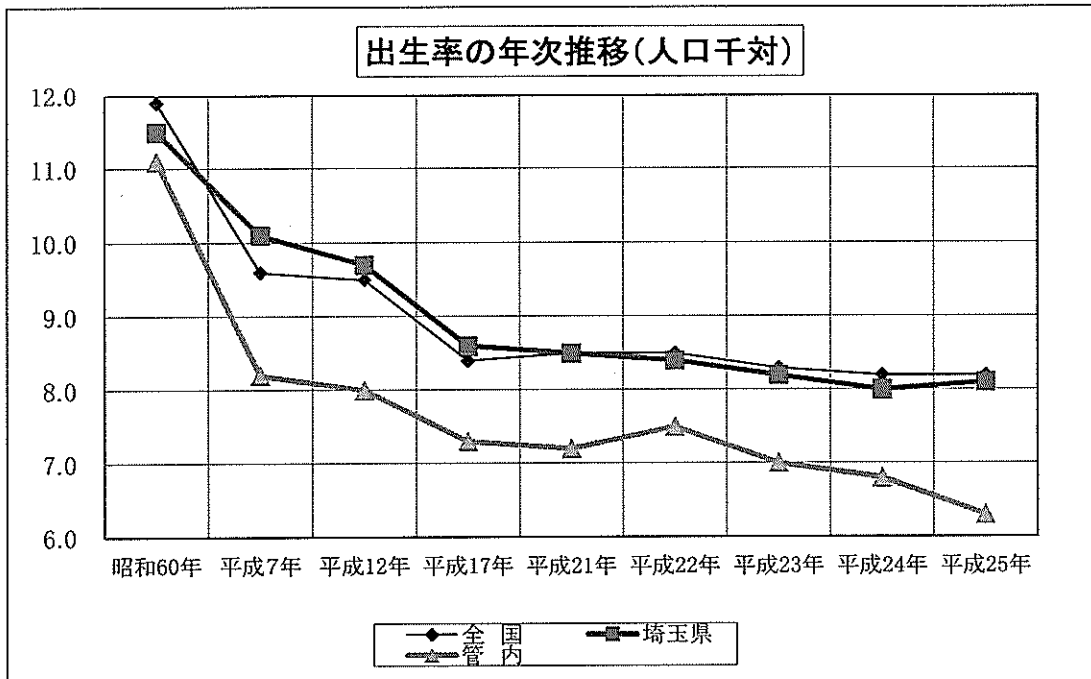
$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{年少人口(14歳以下)}} \times 100$$

## (4) 出生

### ア 出生率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	11.9	9.6	9.5	8.4	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2
埼 玉 県	11.5	10.1	9.7	8.6	8.5	8.4	8.2	8.0	8.1
管 内	11.1	8.2	8.0	7.3	7.2	7.5	7.0	6.8	6.3
坂 戸 市	12.3	8.9	9.4	8.4	8.0	8.2	7.8	7.6	6.9
鶴ヶ島市	11.9	9.3	9.4	9.0	8.6	8.9	7.9	8.0	7.5
毛呂山町	9.6	7.1	6.7	5.6	5.8	5.1	4.6	4.5	4.5
越 生 町	11.7	6.5	7.3	6.8	4.8	6.1	5.3	6.0	4.9
鳩 山 町	9.5	5.3	5.0	3.8	4.0	3.6	3.8	2.8	3.0



## イ 体重別・市町別出生数

平成25年

		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
2.5kg 未満	1kg未満	162	3	3	-	-	-	-
	1.0～ 1.5kg未満	216	4	4	-	-	-	-
	1.5～ 2.0kg未満	660	14	7	4	3	-	-
	2.0～ 2.5kg未満	4,499	123	54	36	16	12	5
	2.5～ 3.0kg未満	22,502	577	260	222	65	18	12
3.0～ 3.5kg未満	23,489	617	294	212	73	20	18	
3.5～ 4.0kg未満	5,531	159	77	48	16	9	9	
4.0～ 4.5kg未満	389	5	3	2	-	-	-	
4.5～ 5.0kg未満	18	1	-	1	-	-	-	
5.0kg以上	1	-	-	-	-	-	-	
不詳	3	-	-	-	-	-	-	
計	57,470	1,503	702	525	173	59	44	

ウ 母の年齢別・出生順位別出生数

平成25年

	埼玉県	坂戸保健所管内								
		小計	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上及び不詳
総数	57,470	1,503 (100.0)	- -	12 (100.0)	132 (100.0)	385 (100.0)	569 (100.0)	333 (100.0)	71 (100.0)	1 (100.0)
第1子	27,451	668 (44.4)	- -	12 (100.0)	96 (72.7)	196 (50.9)	223 (39.2)	113 (33.9)	27 (38.0)	1 (100.0)
第2子	21,695	535 (35.6)	- -	- -	27 (20.5)	126 (32.7)	219 (38.5)	136 (40.8)	27 (38.0)	- -
第3子	6,702	244 (16.2)	- -	- -	8 (6.1)	52 (13.5)	110 (19.3)	63 (18.9)	11 (15.5)	- -
第4子	1,226	40 (2.7)	- -	- -	1 (0.8)	8 (2.1)	16 (2.8)	13 (3.9)	2 (2.8)	- -
第5子	268	7 (0.5)	- -	- -	- -	1 (0.3)	- -	6 (1.8)	- -	- -
第6子以上	128	9 (0.6)	- -	- -	- -	2 (0.5)	1 (0.2)	2 (0.6)	4 (5.6)	- -

(注) ( ) 内の数字は、各年齢ごとに占める割合 (%) である。

エ 母の年齢別・市町別出生数

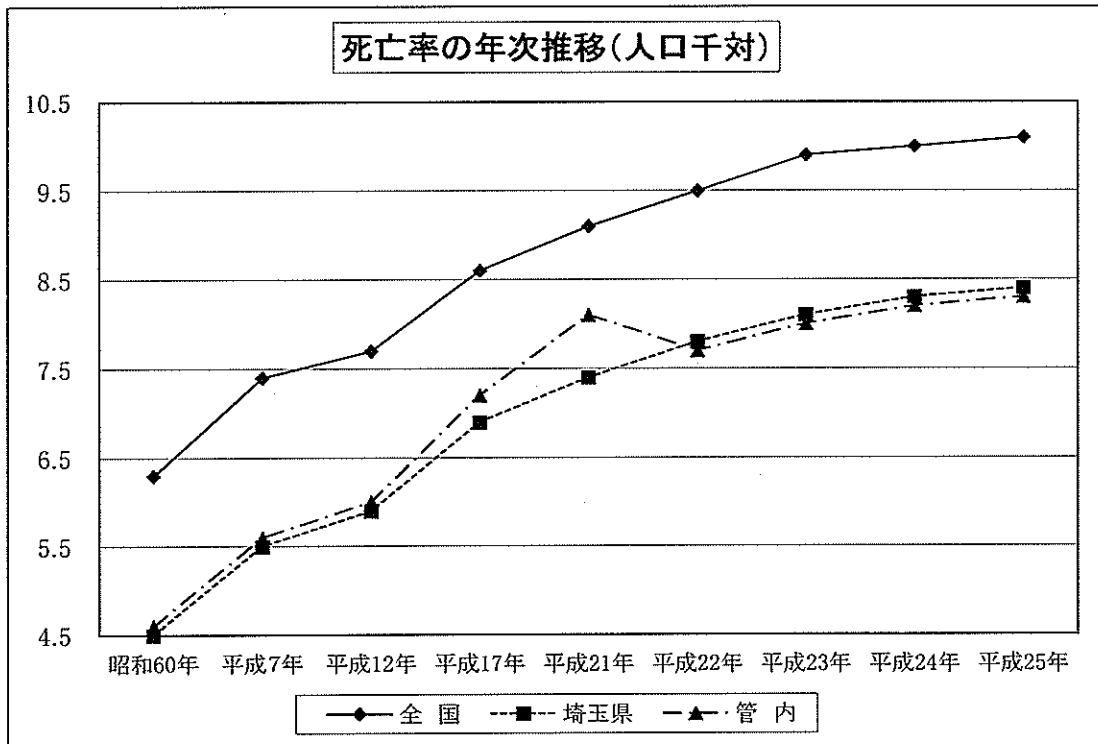
平成25年

	総数	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上及び不詳
埼玉県	57,470	5	621	4,736	14,865	20,822	13,558	2,806	57
管内	1,503	-	12	132	385	569	333	71	1
坂戸市	702	-	5	61	171	275	161	28	1
鶴ヶ島市	525	-	3	42	141	192	114	33	-
毛呂山町	173	-	2	22	49	65	30	5	-
越生町	59	-	1	5	15	18	17	3	-
鳩山町	44	-	1	2	9	19	11	2	-

(5) 死亡

ア 死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	6.3	7.4	7.7	8.6	9.1	9.5	9.9	10.0	10.1
埼 玉 県	4.5	5.5	5.9	6.9	7.4	7.8	8.1	8.3	8.4
管 内	4.6	5.6	6.0	7.2	8.1	7.7	8.0	8.2	8.3
坂 戸 市	3.4	5.1	5.5	6.3	6.8	7.3	7.7	7.4	7.7
鶴ヶ島市	3.1	3.9	4.1	5.6	5.9	6.4	6.3	6.9	7.5
毛呂山町	5.4	5.7	6.7	8.4	9.2	8.9	9.8	9.4	10.0
越 生 町	7.4	8.0	9.0	10.3	12.7	10.8	12.5	14.5	11.0
鳩 山 町	3.4	6.6	7.1	8.9	9.8	11.0	8.9	11.0	9.5





イ 死因別・市町別死亡数（死因簡単分類別）

平成25年

死 因		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総 数		60,264	1,967	787	528	381	133	138
01000	感染症及び寄生虫症	1,232	27	11	4	10	-	2
01100	腸管感染症	90	1	-	1	-	-	-
01200	結核	78	2	2	-	-	-	-
01201	呼吸器結核	70	2	2	-	-	-	-
01202	その他の結核	8	-	-	-	-	-	-
01300	敗血症	566	9	1	1	5	-	2
01400	ウイルス肝炎	257	9	4	2	3	-	-
01401	B型ウイルス肝炎	17	-	-	-	-	-	-
01402	C型ウイルス肝炎	230	9	4	2	3	-	-
01403	その他のウイルス肝炎	10	-	-	-	-	-	-
01500	ヒト免疫不全ウイルス	3	-	-	-	-	-	-
01600	その他の感染症及び寄生虫症	238	6	4	-	2	-	-
02000	新生物	18,696	623	254	183	107	40	39
02100	悪性新生物	18,100	612	250	178	106	39	39
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	359	11	3	3	1	3	1
02102	食道の悪性新生物	652	26	12	5	5	2	2
02103	胃の悪性新生物	2,487	96	39	27	15	5	10
02104	結腸の悪性新生物	1,681	53	16	13	14	2	8
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	756	24	10	8	2	3	1
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1,302	54	14	19	7	11	3
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	849	21	8	5	3	3	2
02108	膵の悪性新生物	1,411	41	23	9	7	1	1
02109	喉頭の悪性新生物	56	3	1	2	-	-	-
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3,593	123	44	41	28	4	6
02111	皮膚の悪性新生物	72	1	-	-	1	-	-
02112	乳房の悪性新生物	745	29	10	13	4	1	1
02113	子宮の悪性新生物	350	8	7	1	-	-	-
02114	卵巣の悪性新生物	276	11	5	3	3	-	-
02115	前立腺の悪性新生物	587	15	9	3	2	1	-
02116	膀胱の悪性新生物	362	7	2	3	-	1	1
02117	中枢神経系の悪性新生物	98	5	2	1	2	-	-
02118	悪性リンパ腫	544	11	6	3	2	-	-
02119	白血病	350	14	7	4	2	-	1
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	194	6	3	1	2	-	-
02121	その他の悪性新生物	1,376	53	29	14	6	2	2
02200	その他の新生物	596	11	4	5	1	1	-
02201	中枢神経系のその他の新生物	153	2	-	2	-	-	-
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	443	9	4	3	1	1	-
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	250	9	3	2	2	1	1
03100	貧血	120	4	1	1	1	1	-
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	130	5	2	1	1	-	1
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,026	31	15	7	9	-	-
04100	糖尿病	707	20	12	4	4	-	-
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	319	11	3	3	5	-	-
05000	精神及び行動の障害	436	16	8	2	5	1	-
05100	血管性及び詳細不明の痴呆	363	16	8	2	5	1	-
05200	その他の精神及び行動の障害	73	-	-	-	-	-	-
06000	神経系の疾患	1,137	35	18	9	6	-	2
06100	髄膜炎	15	-	-	-	-	-	-
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	121	2	2	-	-	-	-
06300	パーキンソン病	282	14	7	5	1	-	1
06400	アルツハイマー病	298	3	1	1	1	-	-
06500	その他の神経系の疾患	421	16	8	3	4	-	1
07000	眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-	-	-
08000	耳及び乳様突起の疾患	2	-	-	-	-	-	-
09000	循環器系の疾患	16,845	525	215	135	97	41	37
09100	高血圧性疾患	226	6	-	1	3	2	-
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	96	2	-	1	-	1	-
09102	その他の高血圧性疾患	130	4	-	-	3	1	-
09200	心疾患（高血圧性を除く）	10,186	310	130	78	51	28	23
09201	慢性リウマチ性疾患	114	5	3	2	-	-	-
09202	急性心筋梗塞	2,287	58	32	11	4	6	5
09203	その他の虚血性心疾患	3,053	96	41	23	21	6	5
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	407	16	4	7	3	1	1
09205	心筋症	148	4	3	-	1	-	-
09206	不整脈及び伝導障害	1,051	35	13	11	6	4	1
09207	心不全	2,984	92	33	23	16	10	10
09208	その他の心疾患	142	4	1	1	-	1	1

死 因		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
09300	脳血管疾患	5,472	176	69	51	37	8	11
09301	くも膜下出血	665	25	9	10	3	1	2
09302	脳内出血	1,470	45	15	14	10	4	2
09303	脳梗塞	3,183	98	40	24	24	3	7
09304	その他の脳血管疾患	154	8	5	3	-	-	-
09400	大動脈瘤及び解離	668	23	13	-	5	2	3
09500	その他の循環器系の疾患	293	10	3	5	1	1	-
10000	呼吸器系の疾患	9,585	321	112	85	77	21	26
10100	インフルエンザ	96	3	1	2	-	-	-
10200	肺炎	6,309	206	69	48	53	16	20
10300	急性気管支炎	15	1	1	-	-	-	-
10400	慢性閉塞性肺疾患	666	37	15	12	5	1	4
10500	喘息	75	1	-	-	1	-	-
10600	その他の呼吸器系疾患	2,424	73	26	23	18	4	2
11000	消化器系の疾患	2,242	68	26	18	16	5	3
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	121	4	2	1	-	1	-
11200	ヘルニア及び腸閉塞	307	10	3	2	5	-	-
11300	肝疾患	804	28	10	8	5	4	1
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	440	18	9	3	3	3	-
11302	その他の肝疾患	364	10	1	5	2	1	1
11400	その他の消化器系の疾患	1,010	26	11	7	6	-	2
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	56	-	-	-	-	-	-
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	272	7	3	2	1	-	1
14000	腎尿路生殖器系の疾患	1,512	53	20	9	11	6	7
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	128	3	2	-	-	1	-
14200	腎不全	1,109	38	14	6	9	4	5
14201	急性腎不全	192	8	2	2	3	1	-
14202	慢性腎不全	657	21	10	4	4	2	1
14203	詳細不明の腎不全	260	9	2	-	2	1	4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	275	12	4	3	2	1	2
15000	妊娠、分娩及び産じよく	1	-	-	-	-	-	-
16000	周産期に発生した病態	29	-	-	-	-	-	-
16100	妊娠期間及び胎児発育に関する障害	4	-	-	-	-	-	-
16200	出産外傷	-	-	-	-	-	-	-
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	16	-	-	-	-	-	-
16400	周産期に特異的な感染症	4	-	-	-	-	-	-
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	1	-	-	-	-	-	-
16600	その他の周産期に発生した病態	4	-	-	-	-	-	-
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	114	1	1	-	-	-	-
17100	神経系の先天奇形	4	-	-	-	-	-	-
17200	循環器系の先天奇形	60	1	1	-	-	-	-
17201	心臓の先天奇形	44	1	1	-	-	-	-
17202	その他の循環器系の先天奇形	16	-	-	-	-	-	-
17300	消化器系の先天奇形	4	-	-	-	-	-	-
17400	その他の先天性奇形及び変形	26	-	-	-	-	-	-
17500	染色体異常、他に分類されないもの	20	-	-	-	-	-	-
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,660	141	56	39	22	11	13
18100	老衰	2,548	107	41	27	17	9	13
18200	乳幼児突然死症候群	5	-	-	-	-	-	-
18300	その他の症状、徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他の分類されないもの	1,107	34	15	12	5	2	-
20000	傷病及び死亡の外因	3,169	110	45	33	18	7	7
20100	不慮の事故	1,481	49	18	12	9	5	5
20101	交通事故	288	6	5	-	1	-	-
20102	転倒・転落	367	14	5	4	1	1	3
20103	不慮の溺死及び溺水	132	4	1	2	-	1	-
20104	不慮の窒息	364	10	3	3	2	2	-
20105	煙、火及び火災への曝露	46	5	1	-	2	-	2
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	19	-	-	-	-	-	-
20107	その他の不慮の事故	265	10	3	3	3	1	-
20200	自殺	1,486	55	23	19	9	2	2
20300	他殺	16	-	-	-	-	-	-
20400	その他の外因死	186	6	4	2	-	-	-

ウ 市町別死因順位と割合 (%)

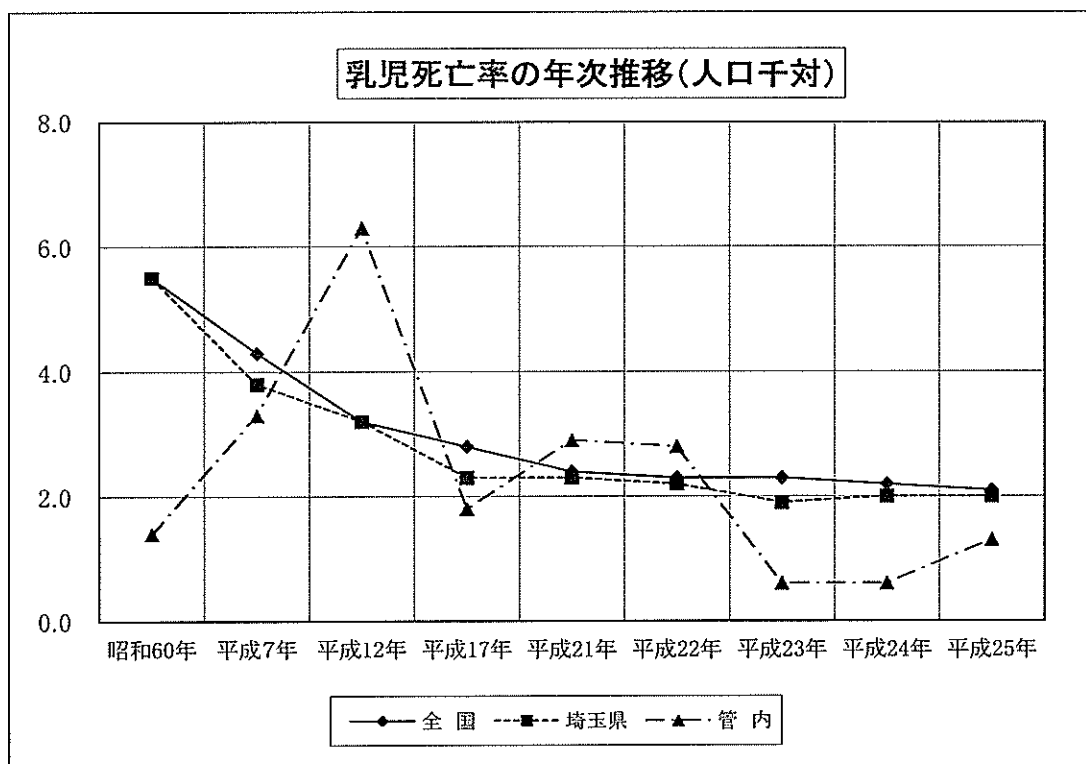
平成25年

	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合
全 国	悪性新生物	28.8	心 疾 患	15.5	肺 炎	9.7	脳血管疾患	9.3	老 衰	5.5
埼 玉 県	悪性新生物	30.0	心 疾 患	16.9	肺 炎	10.5	脳血管疾患	9.1	老 衰	4.2
管 内	悪性新生物	31.1	心 疾 患	15.8	肺 炎	10.5	脳血管疾患	8.9	老 衰	5.4
坂 戸 市	悪性新生物	31.8	心 疾 患	16.5	脳血管疾患	8.8	肺 炎	8.8	老 衰	5.2
鶴ヶ島市	悪性新生物	33.7	心 疾 患	14.8	脳血管疾患	9.7	肺 炎	9.1	老 衰	5.1
毛呂山町	悪性新生物	27.8	肺 炎	13.9	心 疾 患	13.4	脳血管疾患	9.7	老 衰	4.5
越 生 町	悪性新生物	29.3	心 疾 患	21.1	肺 炎	12.0	老 衰	6.8	脳血管疾患	6.0
鳩 山 町	悪性新生物	28.3	心 疾 患	16.7	肺 炎	14.5	老 衰	9.4	脳血管疾患	8.0

- (注) 1 死因名は次のように省略した  
 心疾患→心疾患(高血圧症を除く)  
 2 死因順位は死亡数の多いもの順とした。  
 3 割合(%)は、それぞれの死亡数を100とした場合の割合である。

エ 乳児死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	5.5	4.3	3.2	2.8	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1
埼 玉 県	5.5	3.8	3.2	2.3	2.3	2.2	1.9	2.0	2.0
管 内	1.4	3.3	6.3	1.8	2.9	2.8	0.6	0.6	1.3
坂 戸 市	4.7	4.6	10.9	1.2	3.7	3.7	-	1.3	2.8
鶴ヶ島市	8.5	1.6	1.6	-	3.3	3.3	-	-	-
毛呂山町	6.0	7.1	3.7	9.3	8.8	-	5.6	-	-
越 生 町	14.7	-	-	11.1	-	-	-	-	-
鳩 山 町	-	-	47.1	-	-	-	-	-	-



オ 新生児死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	3.4	2.2	1.8	1.4	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0
埼 玉 県	3.4	1.8	1.6	1.0	1.1	1.0	0.8	0.9	0.9
管 内	2.6	1.6	3.6	1.1	1.5	2.3	-	-	0.7
坂 戸 市	1.9	3.4	4.3	-	1.2	3.7	-	-	1.4
鶴ヶ島市	1.7	-	1.6	-	3.3	1.6	-	-	-
毛呂山町	3.0	-	-	4.7	4.4	-	-	-	-
越 生 町	7.4	-	-	11.1	-	-	-	-	-
鳩 山 町	-	-	35.3	-	-	-	-	-	-

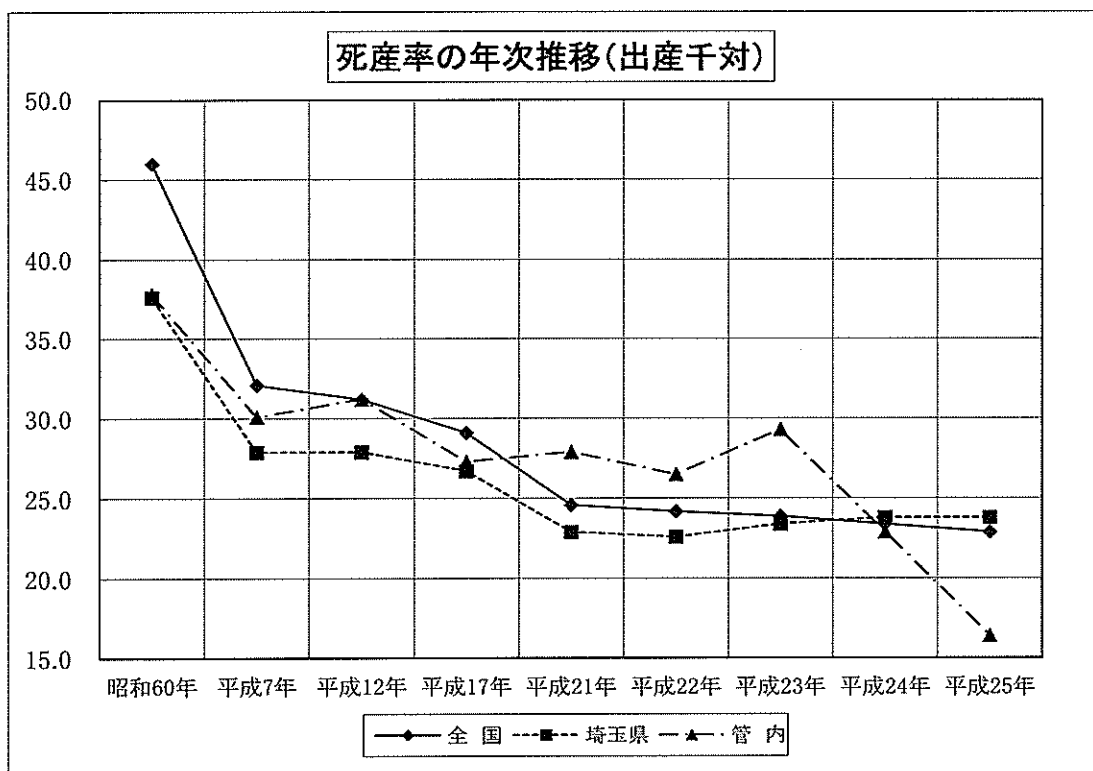
カ 周産期死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	8.0	7.0	5.8	4.8	3.9	4.2	4.1	4.0	3.7
埼 玉 県	8.3	7.0	6.0	4.7	3.9	4.2	4.4	4.4	3.7
管 内	8.0	7.2	7.3	3.7	4.8	2.3	3.6	3.1	2.7
坂 戸 市	7.5	11.4	9.7	3.6	2.5	3.7	3.8	1.3	2.8
鶴ヶ島市	1.7	1.6	7.8	6.4	11.5	1.6	3.6	1.8	1.9
毛呂山町	3.0	7.1	3.7	4.7	4.4	-	5.5	11.4	-
越 生 町	7.4	-	9.9	-	-	-	-	13.3	16.7
鳩 山 町	-	-	35.3	-	-	-	-	-	-

(6) 死産

ア 死産率の年次推移（出産千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	46.0	32.1	31.2	29.1	24.6	24.2	23.9	23.4	22.9
埼 玉 県	37.6	27.9	27.9	26.7	22.9	22.6	23.4	23.8	23.8
管 内	37.8	30.1	31.2	27.3	27.9	26.5	29.3	22.9	16.4
坂 戸 市	38.5	38.5	39.7	36.4	28.9	30.8	29.3	25.3	19.6
鶴ヶ島市	39.2	22.2	29.1	20.4	21.1	20.8	17.7	21.0	15.0
毛呂山町	48.7	37.5	36.1	27.3	21.6	19.7	52.6	16.9	11.4
越 生 町	14.5	11.2	38.5	32.3	31.7	38.0	29.4	13.3	16.7
鳩 山 町	36.5	10.4	34.1	-	-	35.1	65.6	46.5	-



イ 自然死産率の年次推移（出産千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	22.1	14.9	13.2	12.3	11.1	11.2	11.1	10.8	10.4
埼 玉 県	21.8	15.2	13.8	12.7	11.1	11.3	11.8	11.8	11.8
管 内	26.7	15.2	14.5	9.3	11.8	12.7	10.0	9.0	5.9
坂 戸 市	24.2	17.6	23.0	10.6	8.4	14.2	9.8	8.9	8.4
鶴ヶ島市	26.1	9.5	13.8	11.0	13.0	12.8	7.1	7.0	3.8
毛呂山町	25.8	17.1	14.4	9.1	8.62	4.9	21.0	11.3	-
越 生 町	14.5	11.2	19.2	-	15.87	12.7	14.7	13.3	16.7
鳩 山 町	36.5	-	22.7	-	-	17.55	-	23.3	-

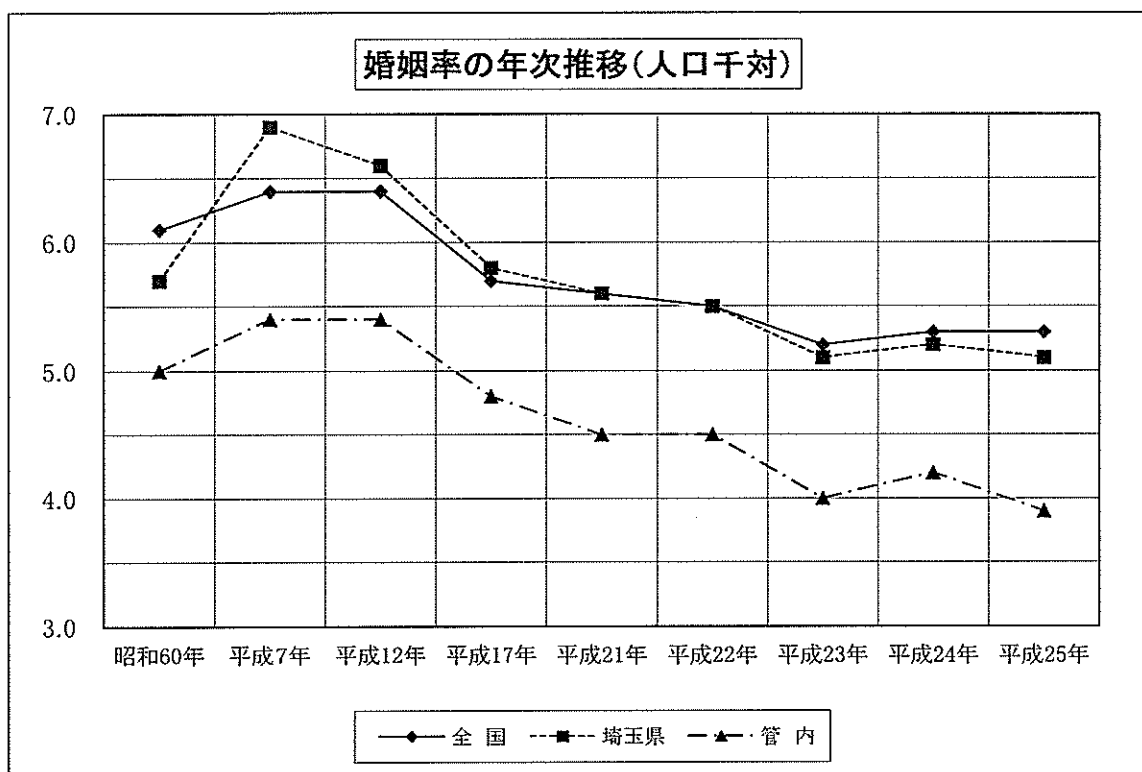
ウ 人工死産率の年次推移（出産千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	23.9	17.3	18.1	16.7	13.5	13.0	12.8	12.6	12.5
埼 玉 県	15.9	12.7	14.1	14.0	11.8	11.3	11.6	12.0	12.0
管 内	11.0	14.9	16.7	17.9	16.1	13.8	19.3	13.9	10.5
坂 戸 市	24.2	20.9	16.7	25.9	20.5	16.6	19.5	16.4	11.2
鶴ヶ島市	26.1	12.7	15.3	9.4	8.1	8.0	10.6	14.0	11.3
毛呂山町	25.8	20.5	21.7	18.2	12.93	14.8	31.6	5.6	11.4
越 生 町	14.5	-	19.2	32.3	15.87	25.3	14.7	-	-
鳩 山 町	36.5	10.4	11.4	-	-	17.55	65.6	23.3	-

## (7) 婚姻

婚姻率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	6.1	6.4	6.4	5.7	5.6	5.5	5.2	5.3	5.3
埼 玉 県	5.7	6.9	6.6	5.8	5.6	5.5	5.1	5.2	5.1
管 内	5.0	5.4	5.4	4.8	4.5	4.5	4.0	4.2	3.9
坂 戸 市	5.6	6.3	6.4	5.7	5.0	4.5	4.1	4.3	3.9
鶴ヶ島市	5.6	6.5	6.9	5.8	5.7	5.6	5.0	5.1	4.4
毛呂山町	4.3	4.0	4.7	3.7	3.4	3.3	2.9	3.2	3.3
越 生 町	3.9	4.7	3.9	3.7	3.9	4.0	3.6	3.7	3.6
鳩 山 町	3.2	3.2	3.1	2.8	2.7	2.4	2.4	2.4	2.5

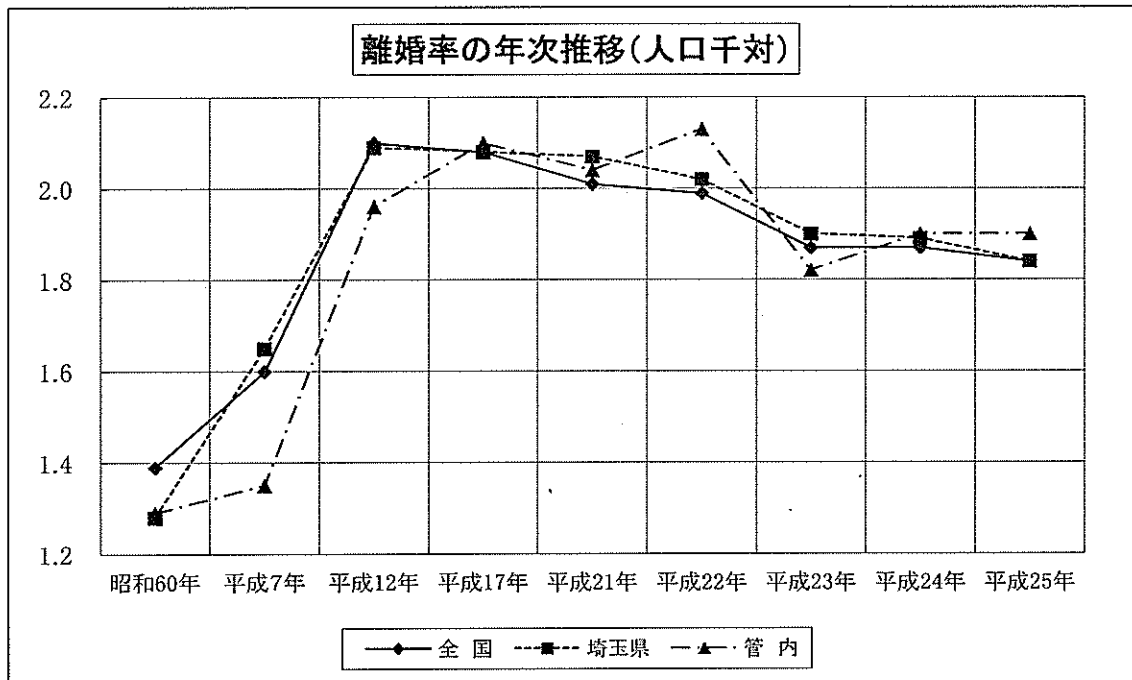




## (8) 離 婚

離婚率の年次推移（人口千対）

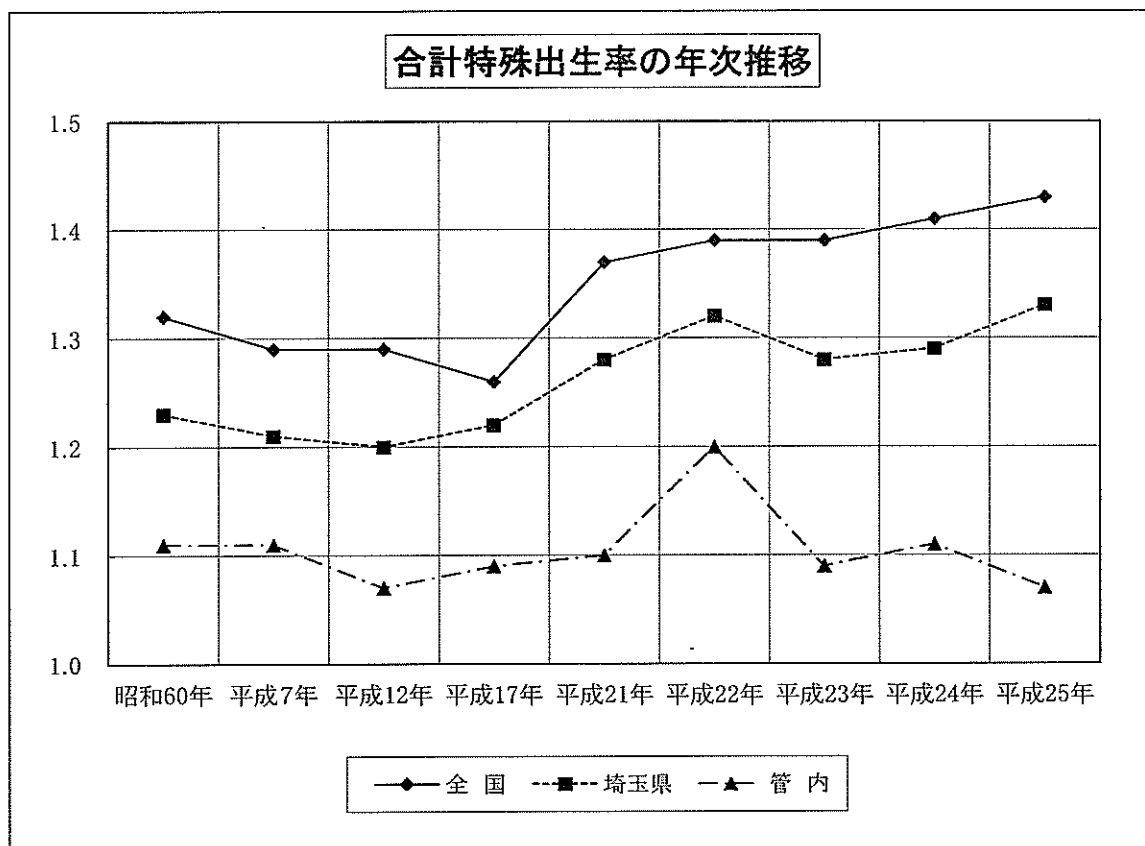
	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	1.39	1.60	2.10	2.08	2.01	1.99	1.87	1.87	1.84
埼 玉 県	1.28	1.65	2.09	2.08	2.07	2.02	1.90	1.89	1.84
管 内	1.29	1.35	1.96	2.10	2.04	2.13	1.82	1.90	1.90
坂 戸 市	1.39	1.65	2.36	2.37	2.38	2.40	2.13	2.10	2.07
鶴ヶ島市	1.46	1.34	1.91	2.24	2.21	1.97	1.54	1.90	1.86
毛呂山町	1.33	1.26	1.66	2.08	2.30	2.12	1.94	1.82	1.68
越 生 町	1.20	1.10	2.11	2.48	1.81	1.93	1.37	1.38	1.82
鳩 山 町	0.72	0.78	1.06	1.38	1.96	1.31	1.13	1.21	1.51



## (9) 合計特殊出生率

### 合計特殊出生率の年次推移

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 国	1.32	1.29	1.29	1.26	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
埼 玉 県	1.23	1.21	1.20	1.22	1.28	1.32	1.28	1.29	1.33
管 内	1.11	1.11	1.07	1.09	1.10	1.20	1.09	1.11	1.07
坂 戸 市	1.17	1.18	1.07	1.17	1.16	1.29	1.20	1.20	1.15
鶴ヶ島市	1.26	1.18	1.24	1.18	1.18	1.32	1.15	1.19	1.15
毛呂山町	0.88	0.99	0.86	0.80	0.94	0.85	0.81	0.82	0.86
越 生 町	1.26	0.90	1.03	1.20	0.82	1.23	0.97	1.12	0.91
鳩 山 町	0.77	0.87	0.74	0.70	0.72	0.74	0.73	0.54	0.63



(10) 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{1年間の出生数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000 \quad (\text{死因別死亡率} \times 100,000)$$

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{1年間の自然増加数 (出生数 - 死亡数)}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{1年間の乳児 (生後1年未満) の死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{1年間の新生児 (生後4週未満) 死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{1年間の後期死産数 + 1年間の早期新生児死亡数}}{\text{1年間の出生数 + 1年間の後期死産数}} \times 1,000$$

※ 後期死産数とは、妊娠22週以降の死産数をいう。  
 早期新生児死亡数とは、生後1週未満の死亡数をいう。

$$\text{死産率} = \frac{\text{1年間の死産数}}{\text{1年間の出産数 (出生数 + 死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{1年間の婚姻件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{1年間の離婚件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left[ \frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \right] \quad \begin{array}{l} \text{15歳} \sim \text{49歳までの合計} \\ \text{(5歳階級で算出)} \end{array}$$

※ 数表の記号

- 計数のない場合
- … 計数不明の場合

## 事業概要<平成26年度実績>

平成27年10月発行

編集・発行

埼玉県坂戸保健所

〒350-0212

埼玉県坂戸市石井2327-1

電話 049-283-7815

FAX 049-284-2268

E-mail [r837815@pref.saitama.lg.jp](mailto:r837815@pref.saitama.lg.jp)